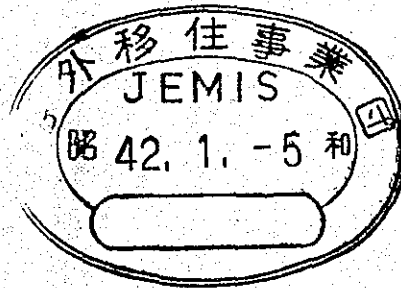


D 16

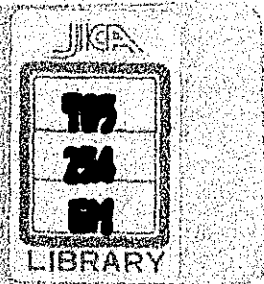
ホルト・アレグレ支部  
管内邦人移住地概況

1966年6月



海外移住事業団

1967.1.3 3位  
10/13



国際協力事業団

受入 月日 34.8.20	703
登録No. 13264	23.4
	EM

目 次

I. 管内邦人移住の沿革

1. 戦前の移住

- ① リオ、グランデ、ド、スール州関係 ..... 1.
- ② サンタ、カタリーナ州関係 ..... 4.

2. 戦後の移住

- ① リオ、グランデ、ド、スール州関係 ..... 4.
- ② サンタ、カタリーナ州関係 ..... 11.
- ③ 管内移住者の総体的概況（含問題点） ..... 14.

II. 移住地域別入植者の現状

- 1. リオ、グランデ、ド、スール州関係 ..... 16.
  - ア. 中央盆地 ..... 17.
  - イ. 海岸地域 ..... 45.
  - ウ. 草原地域 ..... 55.
  - エ. 東南山岳地域 ..... 57.
  - オ. ウルグワイ河流域 ..... 58.
  - カ. ミツソンエス地域 ..... 60.
  - キ. 高原地域 ..... 62.
  - ク. 東北山岳地域 ..... 65.

（参考表）リオ、グランデ、ド、スール州内邦人入植者一覽表（表3）

JICA LIBRARY



102436811

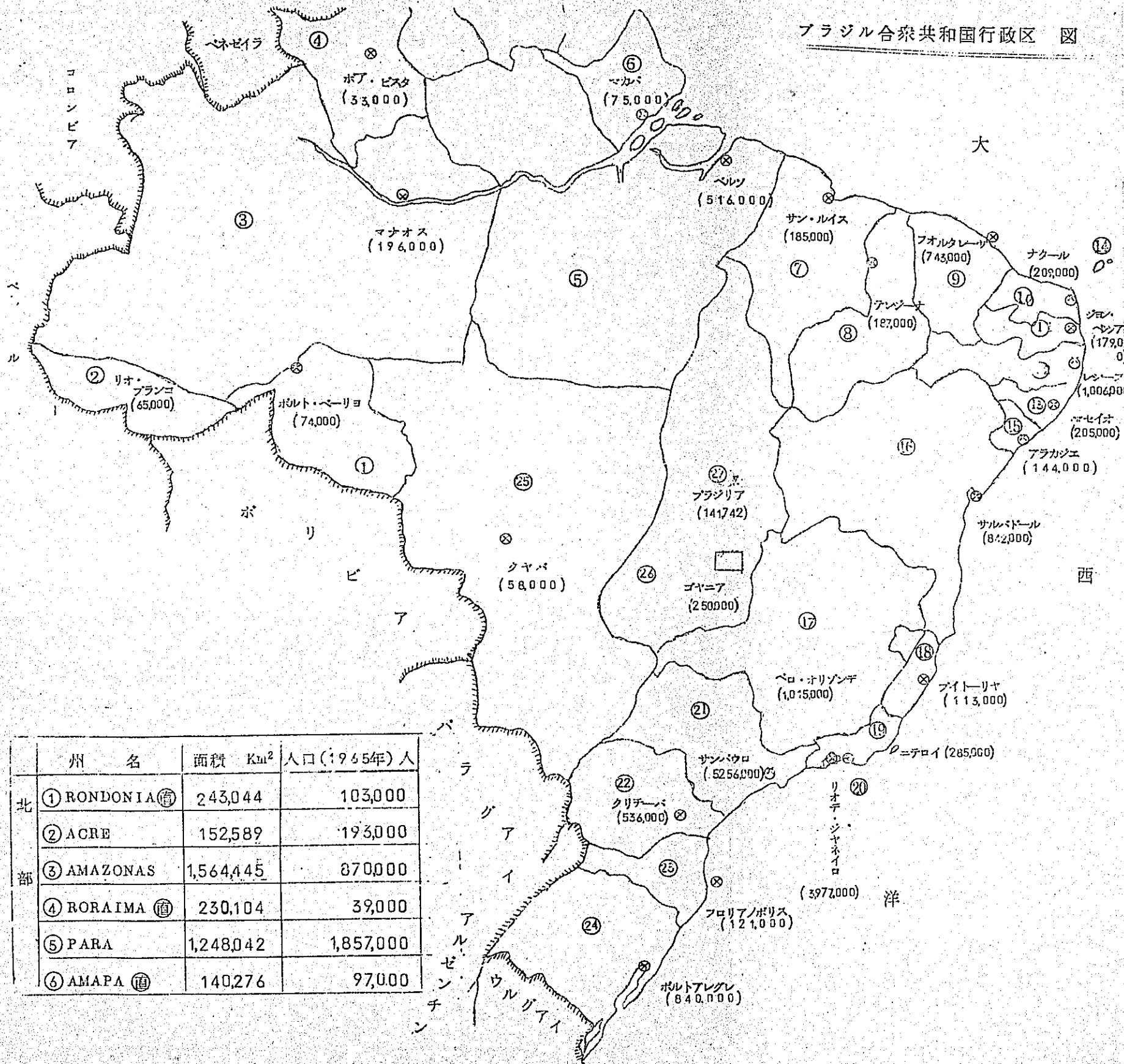
2. サンタ・カタリーナ州関係 .....	67.
ア. 海岸北部地域 .....	67.
イ. 海岸南部地域 .....	73.
ウ. リオ・ネグロ流域 .....	77.
エ. 西部地域 .....	80.
オ. 中山部地域 .....	81.
カ. ラーモス移住者 .....	85.
㊦ 入植の経緯 .....	85.
㊧ 入植計画 .....	85.
㊨ 営農方針 .....	86.
㊩ 現在の入植状況 .....	87.
㊪ 事業団駐在員事務所 .....	92.

参考表      セルソ・ラーモス知事植民地略図

                        サンタ・カタリーナ州内邦人移住者一覽表(表4)

卷末附録      各種関係統計資料

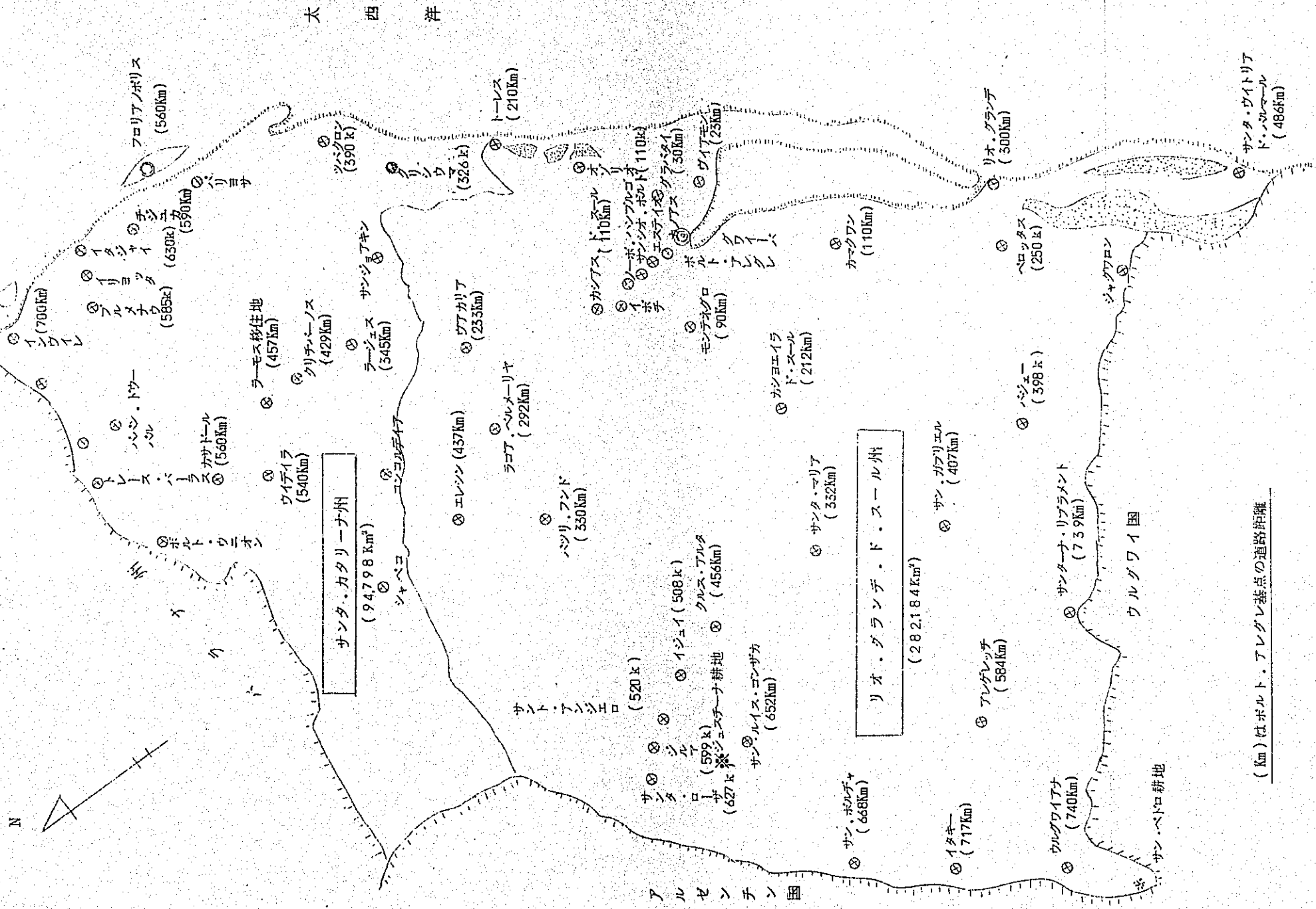
ブラジル合衆共和国行政区 図



州名	面積 Km <sup>2</sup>	人口(1965年)人
① RONDONIA (直)	243,044	103,000
② ACRE	152,589	193,000
③ AMAZONAS	1,564,445	870,000
④ RORAIMA (直)	230,104	39,000
⑤ PARA	1,248,042	1,857,000
⑥ AMAPA (直)	140,276	97,000

州名	面積(Km <sup>2</sup> )	人口(1965年)
⑦ MARANHÃO	328,663	3,234,000
⑧ PIAUÍ	250,934	1,397,000
⑨ CEARÁ	148,016	3,755,000
⑩ RG. DO N	53,015	1,274,000
⑪ PARAÍBA	56,372	2,211,000
⑫ PERNAMBUCO	98,281	4,620,000
⑬ ALAGOAS	27,731	1,380,000
⑭ FERV. DE NORONHA (直)	26	2,000
⑮ SERIPE	21,994	834,000
⑯ BAHIA	561,026	6,750,000
⑰ MINAS GERIS	587,178	11,189,000
⑱ ESPÍRITO SANTO	45,586	1,427,000
⑲ RIO DE JANEIRO	42,912	4,259,000
⑳ GUANABARA	1,356	3,977,000
㉑ SÃO PAULO	247,398	15,845,000
㉒ PARANA	199,554	6,450,000
㉓ SANTA CATARINA	95,985	2,579,000
㉔ RIO GRANDE DO SUL	282,184	6,340,000
㉕ MATO GROSSO	1,231,549	1,254,000
㉖ GOIAS	642,092	2,565,000
㉗ DISTRITO FEDERAL (直)	5,810	141,742
ブラジル国合計	8,506,666	86,642,742

南伯二州主要都市分布略図



## I 管内邦人移住の沿革

リオ・グランデ・ド・スール州（面積282,184平方軒 人口6,340,000人  
=1965年）およびサンタ・カタリーナ州（面積94,798平方軒、人口2,579,000  
人=1965年）内の邦人移住者数は巻末表3（リオ・グランデ・ド・スール州）及び4  
（サンタ・カタリーナ州）のとおり603世帯3,251名（単身205を含む）となつている。  
これ等の移住者の入植経緯を大まかに分析してみると次のとおりである。

### 1. 戦前の移住

#### ① リオ・グランデ・ド・スール州関係

ア リオ・グランデ・ド・スール州に於ける邦人移住の歴史は、サンパウロ・  
パラナ方面に比し相当新らしく、特に計画的移住としては、1936年8月  
創設の海外興業による「サンタ・ローザ植民地（オリゾンチーナ郡）」が最初  
にして唯一であつた。

この植民地には、富岡 漸（故）を主任として15戸が入植、現地に於ける  
分家を併せて18戸となつたが、不幸にして今次大戦の折、種々な事情により  
経営（居住）が困難となり全員が離脱してしまつた。

そしてその後伯國政府により現地伯國人に分譲され、今日では殆んど当時の面  
影をとどめていない。

なお、前記離脱者で一部他州へ移転した者を除いて多くは、現在ペロツタス  
、ポルト・アレグレ地帯で農業に、あるいは商業に従事している。

参考までに現在判明しているこれ等関係者の氏名を次に掲げておく。

(1966.4.現在)

⑦ ペロツタス地帯

氏名	出身県	職業	備考
高橋 幸一	北海道	農業 (ペロツタス)	
長谷川 勝	"	商業 ( " )	
長谷川 東海治	茨城	農業 ( " )	父 宇之助死亡
泰野 巖	大分	( " )	父 永喜死亡、他に 兄弟5人夫々独立

⑧ ボルト・アレグレ地帯

氏名	出身県	職業	備考
福家 清一	北海道	農業 (サンレオ・ボルト)	父 豪一死亡、他に 第一人独立
福家 春雄	"	( " )	分家
松田 力	山形	商(自動車修理) (ボルト・アレグレ)	父 孝道死亡
大滝 力雄	"	集乳所勤務 ( " )	父 健次死亡
浦里 吉之丞	長崎	( " )	父 団次死亡

⑨ 管内のその他の地帯

氏名	出身県	職業	備考
佐藤 武雄	山形	農業 (クリチ・バーノス)	小麦植民地
徳永 清一	北海道	教師 (サンタ・ローザ)	父 冨之助 サンパウロ



㊦ 州 外

氏 名	出身県	職 業	備 考
小 林 才 一 郎		不 詳	本人死亡、サンパウロ州
棚 橋 時 光	北 海 道	"	パラナ州
遠 田 敬 助	山 形	"	サンパウロ州
角 川 富 美 太	"	"	"
徳 永 房 之 助	北 海 道	"	"

イ 一方自由移住者としては、わずかではあるが、サンパウロ・パラナ方面から  
 ㊦ リオ・グランデ、ペロツタス地帯、㊧ ポルト・アレグレ地帯、㊨ カシヤス  
 ・ド・スール地帯に再移住（転住）し、当初主として農業に従事（後日転業  
 した者相当あり）していた家族をあげることができる。

当州在住最初の邦人としては、故根本勇之助（茨城県出身、1921年、当  
 時州政府衛生長官）、つづいて朝枝栄登（山口県出身、1924年来住、現  
 在当州日本人会連合会長）であるが、以下地帯別にその氏名を掲げると、

㊦ リオ・グランデ・ペロツタス地帯

A 中村一信、正雄兄弟（北海道、採種業）、星子直隆（熊本県、現在ポルト  
 ・アレグレ）、伊藤貞敏（長崎県、現在ペロツタス）、小松某（出身県及び  
 現在の居住不明）・・・・以上 リオ・グランデ

B 山口長俊（鹿児島県）、須藤寿一郎、近藤某（以上2名出身県及び現在の  
 居所不明）、樋渡勉兄弟々名（宮崎県、現在ポルト・アレグレ）、猪狩利一  
 （福島県）・・・・以上 ペロツタス

㊨ 樋渡、猪狩2家族は海興あつせんの南伯開拓民であつた。

- 千勝義詞（千葉県、現在ポルト・アレグレ）、武田新一、岩本某、糸田某、平田某（以上々名出身県及び現住所不明）……以上 パロネーザ

① ポルト・アレグレ地帯

渡辺 啓（新潟県）、中村栄一（長野県）、臼井賢次（静岡県）、三浦博（新潟県）、毛利義高（高知県）、加賀美三郎（山梨県）、嶋 藤智（東京都）、武田光男（故、広島県）、熊谷準一郎（秋田県）、長内保（東京都）、伏木田末吉（北海道）、横田 猛（熊本県）、永田四郎（熊本県）、須合 巖（北海道）、水田清二（福岡県）、中田数弘（鳥取県）、溝口某（東京都）

② カシヤス・ド・スール地帯

梅津盛次（出身県不明）、滝沢正志（出身県不明）等である。なお、以上の他、3の者が地方都市近郊に居住し農業あるいは商業に従事して居た。これ等の人々は、なれない土地で然も大戦時に於ては、敵国人として、あらゆる辛酸を経られたが、今日では大方が、農業方面に、あるいは商業方面に夫々確固たる基盤をきづかれ、戦後の邦人移住者導入の糸口をつくられた。そして導入にあたっては、引受者として、あるいは世話人として、大きな役割を果たされたことは、リオ・グランデ・ド・スール州邦人移住史上特筆に値することであろう。

② サンタ・カタリーナ州関係

サンタ・カタリーナ州への戦前の邦人移住の歴史は不明であるが、わずかに海岸沿いのジョインビレー、ブルメナウ、イタジャイ、フロリア、ボリス方面に足跡があつたようである。然し、いずれも継続的に居住したものでなく、戦後の邦人移住者導入に殆ど役立つ状態ではなかつた。

## 2. 戦後の移住

### ① リオ・グランデ・ド・スール州関係

ア リオ・グランデ・ド・スール州への戦後の移住は、1955年（昭30）11月サントス港入港のチサダネ号による2家族、1単身（5名）の呼寄自費渡航者が嚆矢である。

当時伯国向の移住といえ、殆どパラナ、サンパウロ州以北に限られていたが、前記の家族は、当時ポルト・アレグレ市内に居住し、ファセンダの経営指導（AGRONOMO・CONSULTOR）等を業としていた先住者 星子直隆氏と連絡し、種々研究の結果、当地が気候的にも、地理的にも有望と判断し、同人に呼寄を依頼したものである。

引続く第2陣としては翌1956年（昭31）8月、リオ・グランデ港初寄航の移住船ぶらじの丸による23名の単身青年であるが、これ等は引受人星子氏の希望もあつて特定3県（鹿児島、熊本、宮崎）から公募し、主としてポルト・アレグレ近郊の外人耕地に配耕した（内7名はサンタ・カタリーナ州のソンプリオ郡に配耕になつたが、同州への直接配耕は、今日迄のところ、この回のみである。）。

またこの頃からリオ・グランデ・ド・スール州に対する移民熱もたかまり、一方当地に於てもサンベドロ（ウルグアイヤナ郡）、ジュステーナ（サンルイス・ゴンザカ郡）等の大耕地も含めて各所に引受耕主があらわれ、前記先駆者による呼寄の他、業者によるあつせんも含めて急激に移住者数の増加をみるにいたつた。そしてこの増加に伴い移住船も引続きリオ・グランデ港に寄港するようになり、以後1963年（昭38）4月のあふりが丸まで8年間にわたり27便が寄港した。

（注　サントス港上陸の直来移住者も相当数あつた。）

以上により当州に直接移住した邦人数は、次表1のとおり306世帯/94単身（含花嫁35名）/1786名となつた。そしてこれ等の者は、それぞれ分益あるいは雇用農として配耕（表2）され一部の例外を除いて多くがそ業栽培に従事した。

（注　例外としては、サンベドロ耕地およびカマクアンの米作、ジュステーナ耕地のフェジョン、バカリヤの果樹、ピラノーバの花弁栽培等である。）

年次別入植状況一覽表 (1966.4.1)

表 1

年次	項目	入植回数 (移住船)		移住者数		他州への転出		他国への転出		帰国(日本)		備考
		世帯	単身	世帯	単身	世帯	単身	世帯	単身	世帯	単身	
1955年度 (昭30)		1	1		5							△全員自費渡航
56年 (*31)		2	23	1	49	1	6	1				死亡 1
57年 (*32)		4	19	7	41	17	14	10	2	1	4	△転居者の多くは、サントロ、及びチヌスターナ耕地のものである。 死亡 8
58年 (*33)		5	26	2	18	1	5	12	2	1	1	△単身者26名中7名自費渡航 死亡 4
59年 (*34)		5	39 (花嫁 1)	3	24	3	1	17		1	1	死亡 4
60年 (*35)		5	50 (花嫁 4)	4	27	4	9	29		1	2	死亡 2
61年 (*36)		6	80 (花嫁 5)	7	43	7	9	40	3	4	15	死亡 2
62年 (*37)		6	24 (花嫁 6)	2	12	2	4	17	2	1	6	
63年 (*38)		3	13 (花嫁 6)	2	3	2	2	12				
64年 (*39)		3	1 (花嫁 3)		6							
65年 (*40)		6	11 (花嫁 10)		13							
合計		50	194 (花嫁 35)	37	178	50	247	222	6	10	29	死亡 21

(注) ① この表は伯国到港ベースで作成した。 ② 帰国者中には3世帯12名の国援法適用者あり  
 ④ 移住船のリオ・グランデ寄港は27回。 ⑤ 転出単身者の中には家族から分離した単身者も含む。

配耕地域別入植状況一覧表

表 2

地 域 名	入 植 年 次	入植 回数	家 族 数		備 考
			世 帯	単 身	
オゾーリオ (含シドウレーラ)	1955~ 1959	3	2	5	△中2世帯/単身は、 自費渡航
ビヤモン	56~64	23	22	38	
グアイーバ	56~63	12	7	15	
タクアラ	56~62	2	2	3	
ソンプリオ (サンタ・カタリーナ州)	56	1	—	7	
ピラノーバ (ポルト・アレグレ)	56~62	8	4	14	
ウルグアイアナ	57	1	5	—	
サンベドロ耕地 (ウルグアイアナ郡)	"	1	36	4	
ジュステーナ耕地 (サンルイス・ゴンザカ郡)	"	1	16	—	
カノアス (含サンタ・リタ)	58~62	6	13	2	△サンタ・リタ 5世帯
バカリア	58~60	3	4	7	
イタブアン (ビヤモン郡)	58~62	3	5	6	
カマクワン	58~60	4	17	2	
バジエー	58~61	3	9	—	
サンタ・マリヤ (含タクア・レンボ)	58~62	7	21	2	△タクア・レンボ 3世帯
リブラメント	58	1	7	—	
ラミエ (ポルト・アレグレ)	58~62	10	14	20	

リオ・グランデ (含キンタ)	59~61	3	5	7	△単身者7名は全員自 費渡航
ベロツタス	59~62	6	15	4	
サンタ・ビトリア・ド・ バルマル (含シユイ)	59~61	5	18	—	
サン・レオポルド	#	6	9	2	
ドイス・イルモン	60~61	2	4	—	
カンヤス・ド・スール	#	2	3	—	
サブカイヤ・ド・スール (含クラシキ紡)	60~63	4	5	3	△単身者3名は海外実 習生(工業)として クラシキ紡へ就職
グラパタイ	60~62	7	10	—	
ビツコ・ド・リンコン (ポルト・アレグレ)	60~63	3	5	—	
ペドロ・オゾーリオ	61	1	4	—	
ジャグアロン	#	1	3	1	
サンボルジャ	62	1	—	5	
その他の地域	56~63		43	8	△内2世帯/単身は、 未入値のまま州外へ 転出
合 計			306	155	

⑧ ①本表の年次は伯国到着ベースで計上した。

①単身者には家族に同伴した単身者、近親呼寄の単身者々名および花嫁として移住した35名は計上せず。

②世帯数には、同伴家族を計上した。

③地域別の家族数は当初配拵した数字で、現在(66.4.1)は殆どが移動しているので別表にかかげる現在数とは何関係がない。

④その他の地域の主なものは、ポルト・アレグレ郡のベレン・ペーリヨ、  
モーロ・サンターナの他タクワリ、サンセバスチオン・ド・カイノーボ・  
ハンブルグ、エルバール・ド・スール、カンヨエイラ・ド・スール郡  
等である。

イ 入植後の経営については、わずかの邦人耕地に入植した者以外は外人耕地  
に配耕され、等しく、不慣れな生活慣習や不自由な言語になやまされ相当な  
苦勞を余儀なくされた。また中には、サンベドロ耕地、ジュステーナ耕地の  
ように耕主の契約不履行（特に資金面での）による経営不振のため、わずか  
の期間で退耕せざるを得なかつたところもある。当時これ等の退耕者は事業  
団（当時は海協連）あるいは邦人先住者のあつせんで、多くはサンタ・マリ  
ヤ、ポルト・アレグレに転耕したが、前記の表1で、うかがえるように案外  
多くのものが州外（主としてサンパウロ州）に移転しているのは、当時州内  
居住の邦人が少なく比較的知られていなかつたことを物語っているものと  
思われる。

この他農業の未経験、あるいは土地の不慣れからくる経営の不振等による  
仲間同志の感情的対立、生産過剰による豊作貧乏、伯国経済の激変その他保  
健衛生面の問題、子弟の教育問題等、あらゆる辛酸を経て今日に至っている。  
その間中には問題の都度耕地をかわり、あるいは農業に見切りをつけて職業  
を変更する者も相当数あつた。その間移住者も、耕主依存の分益農から借地  
農にかわり、一方現地人の食慣習も、当初余り食用に供さなかつたトマト等  
そ菜類を相当に食膳に供する等大巾に変化したことも好影響して、ようやく  
経営も軌道に乗るようになった。そして、この結果ここ一兩年目立つて自作  
農に移行する者の多くなつたことも前記のあらわれとみることができよう。

またこの間当地方の種々有利な情報があつたわり、更に貫通国道（BR. 2）  
の全線 装と相俟つて、サンパウロ、パラナ方面から再移住する者（戦前、  
戦後、二世等併せ）が増加し、直来移住者と同様の形態で農業に、あるいは

商業に従事している。これ等他地域からの転住者を併せて現在リオ・グラン  
デ・ド・スール州の邦人数は次のとおりとなっている。

	職 業	就 働 家 族 数		形 態 別 農 家 戸 数				備 考
		世 帯	単 身	自 作	借 地	分 益	雇 用	
戦 前	農 業	34	2	12	23	1	—	
移 住 者	そ の 他	83	33					
戦 後	農 業	299	86	52	260	64	9	
移 住 者	そ の 他	85	55					
合 計		501	176	64	283	65	9	

(注) 戦前移住者数には、戦前移住者の二世を含む。

(参考)

次に参考までに前記サンベドロ耕地およびジュスチーナ耕地退耕までの経  
緯を略述する。

⑦ サンベドロ耕地 (ウルグアイヤナ郡)

ウルグアイヤナ市より南方70軒のウルグアイ国境にある大農場。

① 1956年(昭31)海協連サンパウロ支部を通じ邦人受入の申し込みが  
あつた。日本側としては、これを受け公募す。

② 受入条件としては、契約4年、1戸平均20ヘクタールの分益による米作。

③ 募集にあつては、入植後同耕地の支配人(邦人に対する)と予定された  
サンパウロの先住者 木村実取(ドロードス植民地の受入指導にあつた)  
を日本に派遣し、主として熊本県を中心に啓蒙せしめた。

④ この結果、熊本県27戸および同伴世帯3戸(木村実取が同県出身の關係  
で)、兵庫県1世帯/単身、富山、香川、岡山県各1世帯、東京、静岡、  
宮崎各1世帯/単身の合計36世帯(含同伴3世帯)4単身/76名が合格した。



そして翌57年4月、リオ・グランデ到着のあふりか丸にて移住した。

⑩ 配耕後は、耕主側が契約を履行せず、特に資金が枯渇し、経営は困難となり、更に栄養失調が続出し、約8カ月で総退耕せざるを得なくなつた。

⑪ このため故大沢大作（サンパウロ支部長）が中に立ち、次の配耕地としてサンタ・マリヤ近郊のそ菜栽培をあつせんし、多くは同地に転住した（木村実取も同地に転住、海協連囑託として引続き指導の任にあつた）。

その他、相当数にのぼるサンパウロ方面への転住者もあつた。

⑫ サンタ・マリヤ転住後はそ菜（特にトマト）の景気にたすけられて比較的安定した経営を続け今日に至つている。

#### ① ジュステーナ耕地（サンルイス・ゴンザカ郡）

サンルイス・ゴンザカ市より西南方60軒のイジュイ河のほとりにある大農場。（耕主、アンドレ・デラ・ジュステーナ氏）

⑬ 1956年、ポルト・アレグレ市在住の三浦 博（貿易商）を通じ、引受の申し込みをうけ、全国公募す。

⑭ 受入条件としては、契約4年、ノ戸平均25ヘクタールの分益による雑作（フェジョン、米、大豆、マンジョカ等）

⑮ 全国公募の結果山口県8戸（他に同伴世帯2戸）、福岡県3戸、青森、福島、広島県各ノ戸の合計16世帯（同伴2世帯を含む）97名が合格、翌57年4月、リオ・グランデ港到着のさんとす丸で移住。

⑯ 配耕後は、耕主の経営不振（他の企業）により資金が続かず、面積も各3ヘクタール程度で、しかも約束の大機械もなく、とうもろこし、フェジョン、大豆等で一作をあげた後、入耕後約半年にして総退耕せざるを得なくなつた。

⑰ 退耕にあつては、10戸がポルト・アレグレ近郊へ、6戸はサンパウロ方面へ移転した。ポ市近郊への転住者は現在そ菜栽培に、あるいは商業に従事し、ようやくして安定域に到達せんとしている。

#### ② サンタ・カタリーナ州関係

ア サンタ・カタリーナ州への計画的移住としては、1956年（昭31）入

植のノンブリオ地区（前記表2参照）に対する7名の単身青年をあげることができるが、これはリオグランデ・ド・スール州の一環として配耕したものであり、又1964年（昭39）にクリシエマ郡への米作転住7戸（現在4戸）もあげられるが、これもポルト・アレグレ近郊の不安定なそ業裁種、豊作貧乏等の調整として事業団の指導により転住したものである。これ等を除いての計画的移住（地）としては、1963年（昭38）JAMIC（移動事業団）とIRASC（サンタ・カタリーナ州農地改革院）との間に締結された協定に基づいて推進することになった。クリチバーノス郡に所在する「セルソ・ラーモス知事植民地」（別掲）と1963年カトリック神父等によつて計画され、現地から邦人数家族を入植せしめたマフラ郡の「浦上植民地」をあげることができる。

㊦ ラーモス植民地は、伯国政府の機構改革、IRASCの遅々たる事務処理のため予定を随分遅れたが、最近植民地の手続も略々終了し、日本からの入植を待つ状態である。なお、この間現地から邦人16世帯、伯人3世帯が入植、永年作物、蓄産中心の経営に向つて邁進している。

㊧ 浦上植民地は、耕主等の（出資者）感情的対立、経営のゆきづまり、入植者の営業上の問題等から失敗に帰し、邦人入植者は、全員退耕、大方は、パラナ州へ、一部リオ・グランデ・ド・スール州へ再転住した。

（参考）

参考までに浦上植民地の退耕までの経緯を略記する。

A、1963年カトリック神父BENNO WAGNER氏を代表する伯国人数名が出資で求めた山林の伐採跡を開拓として、当地の邦人（当地にて経営不振な新移住者を救済する意味も含めて）を入植せしめることにし募集した。

B、この結果次の10世帯が入植した。

山崎徳太郎（福岡県） 志賀幸一（福島県）山口光二（佐賀県）

中桐虎二（福岡県） 阿部友義（"）大宅政雄（"）

竹内輝治（北海道） 林五雄（山口県）

小田原猛（"） 脇園武夫（鹿児島＝ドミニカの転住者）

C、その後製材事業の行きづまり、出資者の感情的対立もあり、又土地条件も

余り芳しくなく営業も行きづまり遂次離脱者が始れ殆んどがパラナ州へ転住

D、現在は、現地人カマラーダ数人が、わずかにとおもろこし等栽培して細々と生活をしている状態である。

イ、サンタ、カタリーナ州への自由移住のコースとしては、⑦ジョインビレー、サンフランシスコ・ド・スール、からフロリアノポリスを通つてツパロンへの海岸線と ⑧マフラ、トレスパラスからラージェス、サンジョアキン方面の中山部地帯の2つをあげることがである。

これ等は年度的には詳らかでないが、やはり大方はそ業の時期はずれ出荷等を考えて転住したものである。

特殊なものとしては海岸線の砂糖キビ、(イリヨツタ、イタジヤイ)、漁業(イタジヤイ、ホルト・ペーリヨ、フロリアノポリス)、中山部地帯の種馬鈴薯(マフラ、トレスパラス、パバンドウーバ)、果樹(サンジョアキン)等をあげることができる。

なおラーモス植民地を中心とする中山部地帯は最近温帯果樹栽培に極めて適していると折紙をつけられ(平松技師)てから他地域からの転住者が増加しており、将来相当数の邦人が入植するものと予想される。

前記の経緯をたどり現在サンタ・カタリーナ州の邦人数は次表のとおりになつている。

	職業	就働家族数		形態別農家戸数				備考
		世帯	単身	自作	借地	分益	雇用	
戦前	農業	22	5	11	12	3	1	
移住者	その他	23	3					
戦後	農業	49	19	23	32	10	3	
移住者	その他	8	2					
合計		102	29	34	44	13	4	

④ A、戦前移住者の数には、戦前移住者の二世を含む。

B、戦後自作農にラーモス移住地15戸を含む(現在16戸であるが1戸は当時未入植)。

③ 管内移住者の総体的概況（含問題点）

ア、リオグランデ・ド・スール州およびサンタ・カタリーナ州を併せた管内移住者（戦前、戦後を併せ）の本年4月1日現在定着数次のとおり。（巻末表3および4参照）

○ 811世帯（中単身205）、3,151名（内、伯国籍1,209名）  
直来移住者にて定着した数次のとおり。

○ 401世帯（当地にて世帯を構成した者及び現在単身者77名を含む）  
1,789名（直来者1,411名及び当地にての出生、結婚による増員  
（伯国籍）378名）

従つて

○ 410世帯（含単身）1,362名（含伯国籍）

は、他地域から転入した人員となる。

これを直来にて他地域に転出した数、

○ 109世帯（中単身62名）298名、⊕（単身62名中には家族は  
残り、青年のみ転出した数も含まれている）

に比し、

○ 301世帯（含単身）1,064名（含伯国籍）

が、多く転入していることになり、数字的からみて当地域が邦人移住者の  
比較的就労しやすいところであり将来に希望を托せる地帯ということが言  
えよう。

イ、経営面からみたこれ等移住者の状態は、現在のところ、トマトを中心と  
した野菜に頼っている世帯が、リオグランデ・ド・スール州で350世帯  
（含単身者）、サンタ・カタリーナ州27世帯（含単身者）で、特にリオ・  
グランデ・ド・スール州の場合農家戸数の8割強にあたる数が不安定なそ  
菜に依存していることは問題である。

（勿論これ等の中にも売店をもち、あるいは移動市（フェーラ）へ出て  
自ら販売し、相当な実績をあげている者も相当数あるので単にそ菜農家の

数だけで判断することは適當ではないが)

ウ、次に青年の結婚問題については、巻末表3および4のとおり本年4月現在リオ・グランデ・ド・スール州の青年(20才以上)男子351人(内二世79人)、女子74人(内二世33人)、サンタ・カタリーナ州で男子63人(内二世21人)、女子11人(内二世6人)となっており、数字的にみると男子5人に対し女子1人の比率となる。従つて男子の結婚に関しては相当精力的に、しかも早期に対処しなければならない事項となる。

エ、子弟の教育については殆んどの入植者が都市あるいはその周辺に居住しているため小学校への通学は余り苦勞していないが、中学校、高校と進むに従い学校数も減り、距離も遠くなり、更には教育費(中学校以上は原則として教育費は生徒負担である)もかさむことから、いきおい経済的な面からの制約をうけ、子弟の、あるいは父兄の希望にもかゝらず止むを得ず進学を断念せざるを得ない家庭も見つけられる。然し現在これ等のうち相当程度は事業団の奨学資金により救われていることも事実である。

因みに昨年度(1965年度)事業団ポルト・アレグレ支部から交付された奨学資金は金額にして4,517コントス、生徒数中学生40人、高校生3人となつている。

なお現在中学、高校に通学している生徒数次のとおり。

(66-4-1)

州 別	中学生	高校生	備 考
リオ・グランデ・ド・スール	137 (45)	26 (20)	
サンタ・カタリーナ	26 (17)	2 (1)	
合 計	163 (62)	28 (21)	

⊕ 数字の()内は戦前移住者の子弟の数で原則として事業団奨学資金の対象にならないものである。

## II、移住地域別入植者の現状

### ① リオ・グランデ・ド・スール州関係

州内における邦人移住者の入植地域は、巻末表3のとおり62郡にわたっているが、その主なるものについて以下略記する。（整理の都合上次の8気象区に分類する）。

ア、中央盆地（DEPRESSÃO・CENTRAL）

ポルト・アレグレ（サンタ・マリヤ）管区

イ、海岸地域（LITORAL）

リオグランデ（サンタ・ピトリヤ・ド・バルマール）管区

ウ、草原地域（CAMPANHA）

バジエー管区

エ、東南山岳地域（SERRA DO SUDOESTE）

エンクルジャーダ・ド・スール管区

オ、ウルグアイ河流域（VALE DO URUGUAI）

ウルグアイヤナ（イライ）管区

カ、ミソソリエス地域（MISSÕES）

サンルイス・ゴンザガ管区

キ、高原地域（PLANALTO）

クルザルタ（パツソフンド）管区

ク、東北山岳地域（SERRA DO NORDESTE）

カシヤス・ド・スール管区

ア、中央盆地

ポルト・アレグレ測候所（一級）の気象統計（1955～1964）

月別	気		温					平均湿度	降 雨 量	
	平均最高	平均最低	絶 对 最 高		絶 对 最 低		平均温度		平均降雨量	降雨日数
			温度	年 月 日	温度	年 月 日				
1	30.8	20.7	39.1	64- 1-26	12.8	57- 1-15	25.0	70.3	103.9 <sup>mm</sup>	11
2	30.2	20.5	40.3	58- 2-14	12.6	62- 2-19	24.5	72.5	90.2	10
3	29.0	19.5	36.3	64- 3- 4	10.6	64- 3-30	23.3	75.1	77.4	10
4	25.1	16.1	34.8	57- 4- 2	7.4	56- 4-26	19.8	79.0	99.1	11
5	21.9	12.6	32.6	58- 5- 9	4.0	60- 5-24	16.2	81.9	64.8	8
6	19.7	10.6	31.5	62- 6-27	0.8	61- 6-17	14.2	83.6	117.8	11
7	19.8	10.6	30.5	61- 7-20	1.4	55- 7- 8	14.2	80.6	91.8	9
8	20.6	11.2	34.9	61- 8-29	-1.2	55- 8- 1	15.1	80.8	130.1	12
9	21.9	13.6	34.8	59- 9- 8	1.0	63- 9-17	16.9	80.6	152.4	11
10	24.5	15.6	37.1	64-10- 8	6.2	62-10- 9	19.4	76.4	142.7	11
11	27.4	17.1	39.0	62-11-28	10.2	64-11- 1	21.6	70.5	83.6	8
12	29.4	19.0	37.3	55-12-25	11.3	56-12- 4	23.4	68.9	92.0	10
年	25.0	15.6	40.3	58- 2-14	-1.2	55- 8- 1	19.4	26.6	1,240.0	122

㊦ A、管内にサンタ・マリヤ（二級）、タクワリ、タクアラ、カシヨエイラ・ド・スール、サンタ・クルーズ・ド・スール（各三級）測候所がある。

B、測候所の位置 南緯  $30^{\circ}01'53''$

西経  $51^{\circ}13'19''$

⑦ ポルト・アレグレ郡（市）

ポルト・アレグレ郡は、人口83万（市80万）面積522平方キロ、伯  
国屈指の大都会であり、リオ・グランデ・ド・スール州の州都として、州  
政治経済および文化の中心地であるとともに港をひかえ、生産物の集産地  
としての商業都市として栄えている。なお近年特に工業面の進出もゆさま  
しく急激に発展しつつある。

市内の代表的工場としては、ビール、清涼飲料、煙草、製粉工場、その  
他ステンレス、ガスレンジ、テレビ、ラジオ、各種電機器具、塗料等の工  
場がある。

この他、国内航空の大御所VARI Gの本社があることは余り知られて  
いない。

大学としては国立総合大学（医、歯、薬学、農獣、建築、工、美術、文  
理、法、経済、鉱山、看護科）及び私立カトリック大学がある。

日本側の出先機関としては、在ポルト・アレグレ総領事館および移住事  
業団（JAMIC）ポルト・アレグレ支部があり、前者は在留民保護、後  
者は移住者指導、援護の任にあつている。

この他南伯産業組合中央会の出張所があり組合員生産物の販売および購  
買事業を行つている。（なお最近コチャ産業組合の出張所が開設される予  
定で出張員が派遣されている。）

また市内の銀行としては、36行であるがその主なものを列記すると、  
ブラジル銀行（ポルト・アレグレ支店）、リオ・グランデ州立銀行（本店）  
サンパウロ銀行、ロンドン銀行、商工銀行、内国商業銀行、ミナスジェラ  
イス農業銀行、南部商工銀行の各支店、農商銀行（本店）、プロビンシャ銀  
行等である。

なお郡内および近郊にて、野菜栽培に従事している邦人農家の生産物は現在  
殆んど当市に出荷されている状態である。



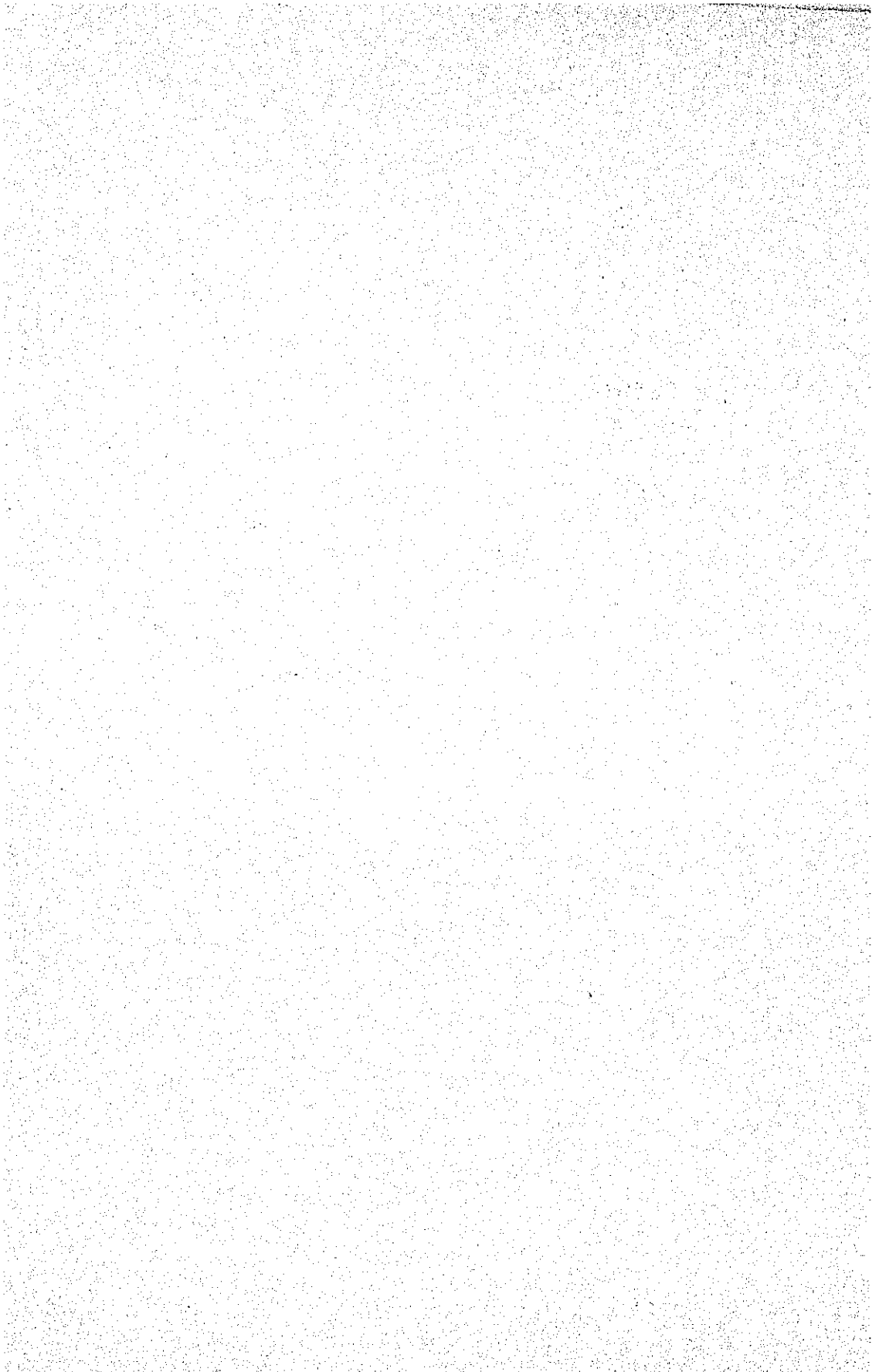
次に郡内（市部を含む）に居住する邦人数次のとおり。

(66-4-1)

	職業	戦前（含独立二世）			戦後			備考
		世帯	単身	人員	世帯	単身	人員	
アグロノミヤ	農	-	1	1	5	-	27	△借地5
	他				1	-	4	分益1
モーロサンターナ	農				11	1	66	△借地12
	他							
ピラノーバ (含カンポノーバ)	農	3	-	14	3	2	18	△自作1、借地5 (分益1、雇用1)
	他							
ベレンペーリヨ	農	2	-	9	6	3	29	△自作2、借地8 (分益1)
	他							
ベレンノーボ	農	1	-	7	9	2	41	△自作1、借地10 (分益1)
	他							
ラミー (含イタブアン)	農				11	5	71	△自作5借地11 (雇用2)
	他				-	1	1	
ピッコ・ド・リンコン	農				3	5	26	△借地2分益4 (雇用2)
	他	1	-	7				
市内	農				8	-	23	△自作1、借地4
	他	50	30	249	43	45	194	
合計 (表3、36)	農	6	1	31	55	18	301	△七業農家61
	他	51	30	256	44	45	199	

④ ④市内の移住者数は異動がはげしいので正確な把握は困難。

⑤ 公館、事業団の派遣職員は含まれない。



「参考」

A、戦前移住者のなかには、花卉栽培にて巨万の富を築いている者（M氏）、混雑果樹栽培にて名をなしている者（W氏、N氏）がある。また商業方面では、スーパーマーケットを営んでいる者（K氏）食堂経営に従事している者（A氏）、その他クリーニング店を営みし相当な資産を蓄えている者（F氏、N氏、Y氏等）が多い。特殊なものとしては、土壌業として相当発展している二世（T氏）もある。

B、戦後移住者の営農例

◎ 〆氏（家族5人、 働力1.5人）・・・中程度

経歴、1959-7、リョグランデ・ドスール州分益農として移住。

1962-4、-現住地アグロノミヤ（市中心より8Km）に転  
住借地（1.0ha）

資産、トラック一台、 評価額2,700コントス

営農収支、（1964-9～1965-8）

粗収入④ 5,955コントス

コーベマンテラ	6,000本	4,000コントス	} 計 5,955 コントス
パセリ	0.1ha	325 //	
ネギ	0.1 //	325 //	
チシヤ	8,000本	280 //	
グラジョラス	18,000 //	00 //	

支 出

家計費② 60コントス × 12月 = 720コントス (現金支出分のみ)

経営費③ 1,925コントス

借地料	1,000コントス	資材	100 //
整地費	60 //	労賃	100 //
肥料	900 //	燃料油	4.15 //
農薬	200 //	種子	50 //

差引余剰

④ - (② + ③) = 3,310コントス

(注) 残金よりトラック購入費の一部2,500コントスを支払う。

◎ M氏 (学族4人、稼働力25人)

経 歴 1959-10 パラナ州へ綿作分益として移住。

1961-6 リオ・グランデ・ド・スール州へ移住を菜栽培分益。

1963-12 現住地ベレンノーホ(市中心より20Km)へ

借地(2ha)再転住。

資 産 : 1,860コントス

住宅1棟(50㎡) 400 コントス  
馬車1台 110コントス

動力噴霧器 1基 500コトス 揚水ポンプ 650コトス

耕馬 1頭 100 // 現金 100コトス

営業収入 (1964-11 ~ 1965-10)

租収入(A)

トマト 6,000本 3,700コトス

支出

家計費(B) 70コトス × 12月 = 840コトス

経営費(C) 2,350コトス

借地料 120コトス 資材費 100コトス

整地費 80 // 燃料費 25 //

肥料代 1,200 // 出荷箱代 150 //

農薬費 400 // 運賃 280 //

差引余剰

(A) - (B + C) = 505コトス

(注) ○ 同氏は、パラナ州より当地へ転住した時は、殆んど無一文であつた。

○ 1966年にはトマトの好況により収入が目標を大巾上廻り、中古車(2,000コトス)ではあるが、トラック1台を購入した。

① ビヤモン郡

ポ市西方に隣接する人口56,000人(市街地4,000人)面積1,690平方軒の衛生都市である。ポ市より市街地までの距離2.3軒。特殊なものとしては、歴史の古い農業高校および神学校があり、前者には邦人の子弟も通学している。

同郡は、邦人先住者が同地に耕地を所有していた関係で早くから(昭31)入植が開始され、また農業指導者(笹田氏)が入植していた関係で、農業をおぼえる意味で比較的多くの者(22世帯38単身一直来者のみ)が入植し、そして巣立つていった。

現在居住している邦人次の通り

職 業	戦 前 (含二世)			戦 後			備 考
	世帯	単身	人員	世帯	単身	人員	
農	2	—	14	31	16	155	△自作7借地31分益4 雇用1 △そ業農家48戸
他							
計	2	—	14	31	16	155	

(表3、62参照)

「参考」

A、戦後居住者の営農例

◎ K氏 (家族4人、稼働力1.8人) ----- 上の部

経 歴 1960-9 リオ・グランデ・ド・スール州分益農として移住  
1963-6 借地農に移行(1.2ha)そ業栽培。

資産	6,200	コントス	評価額	3,000	揚水ポンプ (2馬力2台)	700	コントス
住家 1棟 (40㎡)							
収納舎 2 // (47.5 //)				2,000	中小農具	250	//
トラック 1台 (3 吨)				3,000	農薬肥料ストック	300	//
動力噴霧器 (ホース付)				1,300	耕馬 (1頭)	150	//

管農収支 (1965-1 ~ 1965-12)

租収入(A) 13,300 コントス

トマト	1,300	0本 (0.8 ha)	12,500	コントス
カンラン	3,000	// (0.2 //)	450	//
ビート	1,100	0株 (0.25 //)	300	//

支出

家計費(B) 830 コントス

内訳	主食	100	コントス	副食調味料	260	コントス
	嗜好品	100	//	渡服費	50	//
	医療費	50	//	交際娯楽費	200	//
	その他	70	//			

経営費(C) 10,290 コントス

借地料	40	コントス	資材費	300	コントス
整地	1,400	//	施設償却	1,030	//
労賃	1,000	//	荷造運賃	820	//
肥料	1,400	//	施設々備	100	//

農 業 1,000 コントス 機械購入 4,000 コントス  
 種 子 150 // その他 310 //

諸負担公課① 10 コントス

差引剰余

$$\text{①} - (\text{②} + \text{③} + \text{④}) = 2,170 \text{ コントス}$$

◎ N 氏 (家族 4 人・稼働力 2.8) ----- 上の部

経 歴 1956-8 リオ・グランテ・ド・スール分益農 (単身)  
 1958- 借地農に移行 (借地 5.4 ha) 野菜栽培  
 1963- 日本から花嫁呼寄、同時に弟呼寄 (けい行 資金  
 550 ドル)

資 産 13,450 コントス  
 住宅屋 3 棟 (135 m<sup>2</sup>) 2,000 コントス 収納舎 4 棟 (240 m<sup>2</sup>) 1,500  
 トラック 1 台 (車) 3,000 // 揚水ポンプ (3~5 m) 1,200 //  
 動力噴霧器 (1 台) 4,000 // 中小農具 2,000 //  
 肥料運搬用トラック 1,400 // 耕馬 1 頭 1,500 //

資産収支 (1965-1~1965-12)

租収入① 13,700 コントス

カンラン 50,000 本 (3.0 ha) 5,000 コントス  
 トマト 15,000 // (0.8 //) 4,000 //  
 ニンジン (0.7 //) 3,000 //  
 カラシナ (0.4 //) 750 //  
 キュウリ 3,000 // (0.2 //) 450 //



未処分農作物 500コントス)

海外収入(B) 3,000コントス (トラック1台売却によるもの)

家計費(C) 1,800コントス

主食 300コントス 幅食調味料 500コントス

嗜好品 100 // 被服費 300 //

医療費 200 // 交通通信 150 //

交際娯楽 150 // その他 100 //

経営費(D) 14,790コントス

借地料 90コントス 施設償却 1000コントス

墾地費 200 // 機械購入 6,000 //

労賃 600 // 荷造運賃 300 //

肥料 3,000 // 販売手数料 1,430 //

農薬 2,500 // 種子 150 //

資材 170 // その他 250 //

差引剰余

$$(A + B) - (C + D) = -290 \text{コントス}$$

(注) 同年、トラックの買替えを行つたがこれは更に経営内容を強化するものである。

また同家は、常時地域金融機関の融資を受けられるという自信から、営業資金の繰越を行つていない。

② グラバタイ郡（カシヨエリーニヤ郡を含む）

カシヨエリーニヤ郡（面積3.6平方料）は最近グラバタイ郡（面積8.01平方料）から分離したものであり人口は両郡併せて約5,100人（市街地6,000人）、ボ市西北方にカシヨエリーニヤ、グラバタイの順に隣接している。グラバタイ市街地までボ市より約30料。

工業的に見るものはなく、わづかにカシヨエリーニヤにジャム工場がある程度の謂所田園都市である。

同地方への邦人入植の歴史は比較的新しく、1930年以降に直接10世帯が入植した。その他州内の他地域から転入した者併せて現在42世帯（戦前組3世帯を含む）が農業に従事している。

郡別の内訳次のとおり

	職業	戦前（含二世）			戦後			備 考
		世帯	単身	人員	世帯	単身	人員	
グラバタイ (表3①)	農	3	-	18	39	-	199	△自作7借地3分延4. △モ業農家58
	他							
カシヨエリーニヤ (表3②)	農				14	-	68	△全戸借地 △全戸モ業農家
	他							
合 計		3	-	18	53	-	267	

③ 両郡の戦後移住者は全員当州直米分益農である。

『参考』

A、戦後移住者の営農例

◎ S氏 (家族7人、稼働力30人)・・・中の部 (グラバタイ)

経歴 1958-4 リオグランデ、トスール州分益農。

1960-4 現住地に転住(5ha) 野菜栽培。

資産 2060 コントス

	評価額	コントス		コントス
揚水ポンプ	560	〃	馬車	200
動力噴霧器	600	〃	耕具	150
ホース	150	〃	その他	200
役馬1頭	200	〃		

営農収支 (1964-9 ~ 1965-8)

粗収入① 4240 コントス

	本	コントス
トマト	10000	3000
キュウリ	2000	240
ピーマン	4000	400
ナス	1500	600

支出

家計費② 870 コントス (年間)

経営費③ 2400 コントス

	コントス		コントス
借地料	120	農薬	500
整地費	80	資材	300
種苗	100	灌水費	50
肥料	700	出荷費	55

差引剰余

$$\textcircled{A} - (\textcircled{B} + \textcircled{C}) = 970 \text{ コントス}$$

◎ I 氏 ( 家族 5 人、稼働力 2.7 ) ----- 中の部 ( カシヨエリーニヤ )

経 歴 1962-10 リオ、グランデ・ド・スール州分益農。

1964-1 現住地に借地 ( 5ha ) 野菜栽培。

資 産 2,370 コントス

住宅 1 棟 ( 22m <sup>2</sup> )	350	コントス	畜舎 1 棟 ( 11m <sup>2</sup> )	100	コントス
動力噴霧器 1 式	1,000 //		半自動噴霧器 1 台	300 //	
中小農具	100 //		肥料、農薬ストック ( 100Kg )	200 //	
耕 馬 1 頭	70 //		豚 2 匹	50 //	
現 金	200 //				

営農収支 ( 1965-1 ~ 1965-12 )

● 粗収入<sup>①</sup> 9,100 コントス

トマト	20,000 本 ( 1.5ha )	8,000 コントス
キュウリ	5,000 // ( 0.7 // )	1,000 //
自家消費向生産物		100 //

支 出

家計費<sup>②</sup> 9,000 コントス

主 食	250 コントス	通信交通	50 コントス
副食調味料	300 //	医療教育	100 //
嗜好品	150 //	住 居	10 //
被服費	30 //	交際娯楽	10 //

経費費③ 5,460 コントス

借地料	1,500	施設器具償却	150
整地費	150	その他	90
労賃	50	機械器具	580
肥料	1,500	家畜購入	80
蒔菜	500	出荷費	700
種苗	300	販売手数料	400
資材	300		

借入金返済④ 2,120 コントス

差引剰余

$$\textcircled{A} - (\textcircled{B} + \textcircled{C} + \textcircled{D}) = 620 \text{ コントス}$$

### ⑤ サンレオボルド地域

サンレオボルド、カノアス、エステイオ、サブ<sup>9</sup>カイヤ、ノーボハンブルグ、エスタンジャペーリヤ、ボルトン、サンセバスチオン・デ・カイーの8郡

全郡ともボ市北方に位置する衛生都市であり、距離的にも殆んどが50軒以内につらなり、わずかにサンセバスチオン・デ・カイー郡のみ70軒位はなれているのみである。交通的には、全部舗装された国道によつて結ばれている。

次にボ市に近い順に各郡の特長を略記する。

#### A、カノアス

同郡は、リオ・グラバタイを境として隣接する人口116000(市街地105000)、面積417平方軒の工業的都市であり

ペトロブラス（石油公園）工場、プロパンガス貯蔵所（各メーカー共）セメント工場、各種電気関係工場、自動車立力工場、紙器工場等の他製粉工場、豚肉加工工場がある。

#### B、エステイオ郡

同郡は、カノアスに北隣する人口25,000（市街地24,000）面積36平方マイルの小郡、工場としてはBR116号（国道2号線）沿いに、セメント工場、紡績工場（フランス系）さく油工場、製粉工場、瓦工場等がある。

#### C、サブカイヤ郡

同郡は、サンレオボルドより分離独立した郡であり、面積78平方マイル人口20,000（市街地5,000）

特長としては最近国道沿いに多くの工場が建設されつゝあり急激な発展が予想される場所である。

当州における日本の進出企業「倉敷紡績」もこの郡にあり、多くの邦人が従業員として勤務している。

主な工場としては、ピラチニ製鉄所、ゴム工場（ケーブル製造）、酸素製造工場、製糖工場、製紙工場、皮革工場等がある。

また地域の広さを誇る州立動物園も同郡に在る。

#### D、サンレオボルド郡

同郡はサブカイヤに北隣し面積129.5平方マイル、人口51,000（市街地46,000）、ボ市より市街地迄32マイル、

かつては相栄栄えた中都市であるが現在は余り発展性は見られない。

郡内の主な工場としては、皮革工場、産加工工場がある。

学校としては、文理大の他神学校がある。

#### E、ノーボハンブルグ郡

住民の大部分が独乙系であり、皮革製品（特にくつ）が有名である。

面積 233 平方軒、人口 62,000 人（市街地 30,000 人）ボ市より  
38 軒。

#### F、前記の他エスタンツヤペーリヤ、ポルトン、サンセバステオン・デ

・カイ一等の郡があるが、いずれも似たような田園都市である。

それらの郡にもわずかにづつの邦人が居住し農業に従事している

以上各郡の邦人を次に表記する。

	職 業	戦前(含独立二世) 戦 後						備 考
		世帯	単身	人員	世帯	単身	人員	
カノアス (表3の(17))	農	1	—	5	3	2	19	△自作1.借地2 分益3 △そ業農家5
	他	2	—	10	1	—	4	
エステイオ ( // (19))	農				6	—	24	△借地5.雇用1 △そ業農家5
	他	1	—	4	—	1	1	
サブカイヤ・ ド・スール ( // (53))	農				1	—	5	△農家1戸は州立 動物園雇用 △その他の中外人 所1世帯を除いて1 9世帯の単身は クラシキ関係者
	他	8	1	46	12	4	52	
サンレオボルド ( // (50))	農	3	—	15	13	1	75	△自作3.借地1.4 △そ業農家6
	他	2	—	6	1	—	6	
ノーボハンブルグ ( // (50))	農				8	1	45	△自作1.借地8 △そ業農家9
	他	1	—	7				
エスタンシャ ペーリヤ ( // (19))	農				3	—	15	△自作2.借地1 △そ業農家5
	他							
ボルトン ( // (55))	農				1	—	3	△自作1 △そ業農家1
	他							
サンセバスチオン ・デ・カイ ( // (52))	農				1	—	5	△借地1 △そ業農家1
	他							
合 計	農	4		20	36	4	191	
	他	14	1	72	14	5	63	

(注) サブカイヤ・ド・スール部に倉敷紡績派遣員の数は含まれて  
いない。



〔参考〕

A、戦後移住者の営農例

◎H氏（家族5人稼働力2.5）――中の部（カノアス）

経歴 1958-3 リオ・グランデ・ド・スール州分益母（水田）

1962-6 現住地に転住、借地（5ha）そ菜栽培

資産産 2,500コントス

評価額  
トラック1台 2,000コントス 馬車 200コントス

役馬 1頭 100 // 乳牛1頭 100 //

営農収支（1964-7~1965-8）

粗収入④ 8,600コントス

トマト 12,000本 2,000コントス

カンラン 17,000 // 2,490 //

花ヤサイ 15,000 // 500 //

ホーレン草 0.3ha 500 //

チンヤ 0.3 // 3,200 //

支出

家計費⑤ 7,400コントス（年間）

経常費⑥ 6,020 //

借地料 2,400コントス 種苗 400 //

整地費 110 // 燃料油 500 //

肥料 1,120 // 出荷費 350 //

農薬 60 // 修理費 1,100 //

資材 140 コントス    トラック購入費 2,000 コントス

差引剰余 (A) - (B) + (C) = 1,790 コントス

◎ M氏 (家族5人、稼働力3.0人) ----- 中の部 (ノーボハンブルグ)

経歴 1954-11 バラー州モンテ・アレグレ計画移住 (米・ビメタン)

1961-4 リオ・グランデ・ド・スール州へ転住分益

1963-11 現住地へ借地 (7.5ha) 野菜栽培

資産 4,030 コントス

住宅1棟 (30m<sup>2</sup>) <sup>評価額</sup> 5,500 コントス    収納舎1棟 (17m<sup>2</sup>)    200 コントス

動力噴霧器1式    1,000 //    揚水ポンプ一式    300 //

馬車    1台    200 //    肥料・農薬ストック    150 //

預金       1,500 //    役馬 1頭    80 //

當年度収支 (1965-1 ~ 1965-12)

粗収入 (A) 1,100.00 コントス

トマト    16,000本 (0.8ha)    8,000 コントス

チンヤ    30,000 // (0.2 //)    1,000 //

カンラン    10,000 // (0.5 //)    2,000 //

支出

家計費 (B) 1,300 コントス

主食    250 コントス    医療費    20 コントス

副食調味料    300 //    交通通信    120

嗜好品	150	コントス	住居費	50	コントス
		"			"
被服	150	"	交際娯楽	100	"
		"			"
教育費	150		その他	10	
経営費①	5,980	コントス			
借地料	255	コントス	整地費	180	コントス
		"			"
肥料代	2,000	"	設備費	100	"
		"			"
農薬	1,000		機具購入	50	"
		"			"
種 苗	300	"	出荷費	515	"
		"			"
材料	400	"	販売手数料	780	"
		"			"
機具償却	200		その他	100	

差引余剰

$$\text{㊸} - (\text{㊶} + \text{㊷}) = 3,720 \text{ コントス}$$

㊶ 同人は近く I v o T I 集団独立地へ入種の予定。

㊷ K氏 (家族4人、稼働力 1.8)・・・中の郡 (サンレオボルド)

経歴 1959-10 リオグランデドスール洲分益農、(そ菜、花)

1961-12 同地にて借地農、

1965-同地にて土地購入 (1 ha 独立 (地に借地 1 ha

資産 6,700 コントス

土地 1	評価額	2,000	コントス	トラック (大型) 1台	2,500	コントス
		"	"			"
耕耘機		800	"	揚水ポンプ	300	"
		"	"			"
預金		1,000		その他の農具	100	

営農収支 ( 1964-7 ~ 1965-6 )

粗収入①	6,220	コントス		
			コントス	
トマト	6,000	本	2,800	0
				"
チンヤ	0.1	ha	1,850	0
				"
カーネーション	4,000	本	270	0
				"
グラジオラス	20,000	球	310	0
				"
花ヤサイ	10,000	本	910	0
				"
その他の野菜			80	

支出

家計費② 80 × 12月 = 980 コントス

経営費③ 6,740 コントス

土地購入費	2,200	ト	労賃	900	トス
トラクタ	2,000		資材	1,120	
借地料	80		農具修理	440	

差引余剰

① - (② + ③) = - 1,020 コントス

④ 同年度は前年度の繰越金の余裕で一筆に土地、トラクタを購入、更に相当な営農資材を購入したため赤字となっている。

④ グアイーバ郡

同郡は、リオジャタイ、リオグアイーバを境としてホ市東方に隣接する衛星都市であり、面積1,381平方キロ、人口24,500人（市街地8,000人）。

工場としては、ガスレンジ工場及び飼料工場がある。

特殊なものとしてはIRGA（リオグランデ・ド・スール州米穀院）の指導展示圃場（採種場）がある。

同郡への邦人の入植も比較的早く、1956年から62年にかけて7世帯15単身が入植し集立っている。

現在の邦人移住者は次の通り、

職業	戦前（合独立＝世）			戦後			備考
	世帯	単身	人員	世帯	単身	人員	
農	4	-	19	5	2	24	△自作2、借地9 △野菜農家8戸
他							
計	4	-	19	5	2	24	

（表3.22）

「参考」

④戦後移住者の営農例

◎ S氏（家族4人、稼働力1.5）

経歴 1956-9 サンパウロ州へコチア青年として移住。

1962-12 リオグランデ・ド・スール州（ポルトアレグレ）へ

移住、分益

1963- 7現住地に借地（2ha）、野菜栽培、

資産 1,000 コントス  
 揚水ポンプ1式 350 コントス 半自動噴霧器1式 350 コントス  
 住居1棟(25m<sup>2</sup>) 200 その他 100

管農 収入 (1964-9~1965-8)

租 収入 ㉔ 3,750 コントス

トマト	8,000本	3,000	コントス
メロン	1,000 "	300	"
スイカ	300 "	200	"
ニンジン	500打	250	"

支出

家計費 ㉕ 700 コントス (年間)

経営費 ㉖ 2,575 コントス

借地料	60	コ	ト	ス	賃	材	200	コ	ト	ス
整地費	100	"				種	苗	100	"	
肥料	1,300	"				燃	料	油	15	"
農薬	500	"				出	荷	費	300	"

差引余剰

㉔ - (㉕ + ㉖) = 475 コントス

④ カシヨエイラ・ド・スール郡

同郡は、ボ市西方210軒に位置する面積4,626平方軒、人口9,100人(市街地4,100人)、小麦、米を主作物とする大郡である。

市街地にある主な工場としては、機械(蒸気機関)工場、高圧揚水ポンプ工場、各種脱穀機工場、鋳型工場、石灰工場、その他肥料、飼料工場、製粉工場、食肉加工工場等がある。

郡内に居住する邦人は、次のとおりである。これ等の多くは市内に売店を持ち自家生産物の販売も兼ね行っている。

職業	戦 前			戦 後			備 考
	世帯	単身	人 員	世帯	単身	人 員	
農				7	—	35	△自作2 借地5 △そ菜農家6戸
他				2	—	14	
計				9	—	49	

(表3、⑦)

⑤ サンタ・マリヤ郡

同郡は、リオグランデ・ド・スール州の中央部に位置する中都市であり、面積3,230平方軒 人口134,000人(市街地87,000) 同市は国有鉄道の要衝のため、雑穀、畜産物の大集散地として、また軍隊、学生の街として古くから栄えた所である。

市内にある施設としては、国立総合大学(医、歯、薬、文理、農、法、経済、工科)、神学校(尼僧)の他製粉工場がある。

同郡への邦人は、1958年タクアレンボに入植した3戸が最初であり、以後6回にわたり21世帯2単身が直接入植している。その間に前記サンベドロ耕地よりの転耕者が大量に入植し、一時は邦人数35世帯を算えたこともあるが現在は多少減少し次のとおりになっている。

職業	戦 前			戦 後			備 考
	世帯	単身	人 員	世帯	単身	人 員	
農			8	15	—	69	△自作6、借地7、 分益2、 △そ業農家 15戸(全員)
他	1	—	8	6	—	26	
計	1	—	8	21	—	95	

(表3、(41))



⑦ イボチ郡

同郡は、エスタンシヤ、ペーリヤ及びドイス・イルモン郡の各一部を併せて近年独立した郡であり、面積154平方町 人口5,900人の小郡である。住民は3戸のイタリー系を除いて他は全戸独乙系である。

本年(1966年)州内各地域(主としてボ市近郊)に居住する邦人移住者26世帯が共同して同郡内に用地を購入近く集団独立地として発足するはこびになつている。

経営の主なもの、イタリヤぶどうを主とした果樹と養蠶(卵)を行う予定である。各戸の耕地面積平均5ha。

入植予定者次の通り

氏名	家族人員	現住地	氏名	家族人員	現住所
加賀 落 敏	7	ビヤモン	松村 敏夫	7	ラミー (ポルト・アレグレ)
笹田 豊彦	4	"	根芝 啓介	3	
林 国美	10	"	福本 一三男	4	グアイーバ
折田 国治	2	"	宗 徹	5	"
有馬 純和	1	"	宮部 一弘	8	ノーボハンブルグ
竹内 忠弘	1	"	三輪 忠三郎	5	"
木崎 昌平	4	"	佐藤 幸徳	3	ベレンベリーヨ (ポルトアレグレ)
田中 照男	4	"	下園 治幸	5	サンレオポルト
石神 友一郎	7	カシヨエリーニヤ	上田 伊之助	4	カシヨエイラ、ド、 スール
千葉 末雄	5	"	谷崎 登	3	ペナンシオ、アイレス
久保 敏彦	2	"	上村 栄次郎	1	ウルグアイヤナ
郷司山 茂雄	4	グラパタイ	尾崎 忠彦	5	オゾーリオ
尾池 幸夫	6	"			
矢野 忠臣	5	"	合計	115名	26世帯

㉑ その他の郡

モンテ・ネグロ、タクワリ、サンタ・クルース・ド・スール  
 (ベナンシオ・アイレス、タクアラ、リオ・バルド、バラドリベイロの7郡)

	職業	戦前	戦後			備考
			世帯	単身	人員	
モンテネグロ (表3(29))	農 他		2	3	15	△自作2、借地3、 △そ業農家5
タクワリ (表3(56))	農 他		1	—	6	△借地1 △そ業農家1
ベナンシオ アイレス (表3(60))	農 他		1	—	3	△分益1 △そ業農家1
サンタ・クルース・ド・ スール ( " (39) )	農 他		3	—	25	△借地3 △そ業農家3
タクアラ (表3(55))	農 他		1	—	4	
リオ、バルド ( " (38) )	農 他		1	—	5	
バラドリベイロ ( " (4) )	農 他		1	1	9	△分益2 △そ業農家2
合計	農 他		8	4	58	
			2	—	9	

㉒ モンテネグロ市内には州立畜産試験場、タンニン工場

(TANAC)、食肉加工工場がある。

タクワリ市内には、州立果樹試験場がある。

# イ、海岸地域

リオ、グランデ測候所(一級)の気象統計(1955~1964年)

月別	気 温						平均 湿度	降 雨	
	平均 最高	平均 最低	絶 対 最 高 温度 年 月 日	絶 対 最 低 温度 年 月 日	平均 温度	平均 降雨 量		降雨 日数	
1	27.2	23.7	32.2 57-1-29	14.0 52-1-25	23.9	78.2	93.4	10	
2	26.8	20.6	38.0 55-2-28	12.2 62-2-25	23.1	77.6	70.1	8	
3	25.8	19.9	33.0 63-3-6	12.8 58-3-24	22.4	81.2	95.9	11	
4	22.4	16.4	31.0 59-4-2	8.0 61-4-29	18.9	83.0	69.4	11	
5	19.0	13.0	29.2 60-5-7	4.8 56-5-10	15.4	85.4	67.9	7	
6	16.5	11.1	23.8 57-6-21	2.4 60-6-26	13.3	87.5	85.8	10	
7	15.8	10.4	25.2 58-7-26	0.6 55-7-8	11.3	87.8	122.4	10	
8	16.6	10.7	26.8 61-8-10	1.8 55-8-1	13.2	85.2	125.0	10	
9	17.9	12.7	31.0 59-9-8	4.2 64-9-2	14.9	86.0	143.9	11	
10	20.3	15.1	27.8 59-10-25	8.0 55-10-15 64-10-4	17.0	84.0	99.0	10	
11	23.1	17.0	32.4 55-11- <sup>16</sup> <sub>27</sub>	9.6 64-11-1	19.4	80.7	65.0	8	
12	25.5	18.9	36.0 62-12-26	7.4 59-12-16	21.5	79.5	60.8	8	
年	21.4	15.5	32.2 57-1-29	0.6 55-7-8	17.9	83.0	1,098.6	114	

(注) A、管内にサンタピトリヤ・ド・バルマール(二級)ジャダフ  
ロン・ペロックス、タッベス、トーレス(各三級)測候所がある。

B、測候所の位置

南緯 32° 01' 44" 西経 52° 01' 40" の海岸沿い

⑦ リオ、グランデ郡

同市は、リオ、グランデ、ド、スール州最大の港として外国航路の船も寄港し、かつては相当栄えた港湾都市である。

また戦後当州への邦人移住者の大部分もこの港から上陸したものである。

現在サンパウロ方面への陸路が整備され、国内輸送が殆んど陸送にうばわれ、そのため港は、若干さびれ気味ではあるが、玉ネギ類の集散地としては、相変わらず栄えている。

また同郡の大西洋岸カジノは最近特に海水浴場として栄えている。

郡の面積2,680平方キロ人口108,000人(市街地90,000)

市内の工場としては、魚の罐詰工場、肥料工場、塗料工場等がある。

郡内に居住する邦人の状況次のとおり

職 業	戦 前			戦 後			備 考
	世帯	単身	人員	世帯	単身	人員	
農	3	-	24	2	4	16	△自作3借地6 △そ業農家4戸
他	1	-	6	2	1	6	
計	4	-	30	4	5	22	

⊕ A、戦前農業者3戸のうち2戸は採種(トマト)業

B、戦前その他の1戸は漁業を目的に最近転入

C、戦後農業者のなかには年少にしてすでに乳牛(登録)

11頭を飼育している者がある。

「参考」

戦前業原者の中村一家は古くから同地にてコチア産組指定採種業者（主としてトマト）として安定している。同人はかつてサンタ・ローザ植民地（前記）の退耕にあたって4戸を引受け、また戦後は单身青年7名の引受をしている。

① ペロツクス郡

同郡は、ポ市南方250軒面積2,981平方軒、人口192,000人（市街地130,000人）、リオ・グランデドスール州内に於てポ市に次で第2の大都会であり、雑穀類、畜産物の大集散地として栄えている。

市内の工場としては、食肉加工工場（英国系）、農産加工工場（魚、トマト、アバカシ）の他小型の雑詰工場が沢山ある。

特殊なものとしては、国立の果樹試験場があり、果樹振興に大きく寄与している。

邦人については、戦前相当数（前記）が居住し、またそのうちわずか2戸ではあるが海軍あつせんによる移住がある等ゆかりの地である。

戦後も早期に入植が開始され、現在でも次表の通りポ市近郊をのぞいて州内で最も多く邦人が居住している地域となつている。

職 業	前			後			備 考
	世帯	単身	人員	世帯	単身	人員	
農	5	1	26	16	1	100	△自作5.借地1.6 分益2
他	8	1	38	3	-	12	△そ菜農家22戸
計	13	2	64	19	1	112	

「参考」

A、戦後移住者の営農例

◎ F氏（家族9人、稼働力男2.5、女3）・・・中部

経歴 1961～4 リオ、グランデ、ド、スール州分益農（米作）

1962～ 現住地に20haを購入（携行資金5,000ドルにて）主としてそ菜栽培。

資産 16650コントス

土地20ha 評価額 6000コントス 耕耘機1台 3,000コントス

（水田1.0ha畑4.2採草地13  
宅地0.5山林0.5不可地地0.3）自動脱穀機1台1,000〃

ミスト機1台 300〃 揚水ポンプ1台 400〃

トラクタ1台3,000〃 住家1棟（55 500〃

畜舎1棟（185㎡）500〃 収納舎（32〃）200〃

その他の器具 500〃 牛9頭（成牛5 牛4）1,000〃

役馬2頭 200〃 豚 2頭 50〃

営農収支（1965-4～1966-3）

租収入④ 4,400コントス

トマト	1,000本(0.8ha)	2,000コントス
葉野菜	(0.1//)	500//
イチゴ	(0.05//)	200//
米	(1.0//)	600//
トウモロコシ	(1.0//)	100//
玉ねぎ	(0.1//)	400//
牛乳		400//

支出

家計費② 1,850コントス

主食	500コントス	医療費	300コントス
副食調味料	300//	交通通信	80//
嗜好品	200//	交際娯楽	120//
被服費	100//	その他	200//
教育費	50//		

経営費③ 2,570コントス

労力費	300コントス	材料費	50//
肥料費	600//	飼料費	500//
農薬費	400//	荷造運賃	500//
種苗費	100//	販売手数料その他	120//

諸負債④ 120コントス

差引余剰 ① - (② + ③ + ④) = -140コントス

(注) 同家は米作分益として移住したが入耕先の営農条件が思わしく

なく転住したが、その折携行資金を土地にかゝらる。

◎ Y氏(家族11人、稼働力男4女3) --- 上の部

経 歴 1959-7 リオ・グランデ・ド・スール州分益農(米作)  
 1960- 現住地へ転住、そ業栽培  
 1963- 同地3.5haを購入、現在に至る。

資 産	33,450コントス		
	評価額		
土地 3.5ha	15,000コントス	宅 地	5,000コントス
(畑2.0haその他1.5ha)			
住宅(225m <sup>2</sup> )	2,000 //	揚水ポンプ2台	1,150 //
収納舎(220//)	1,000 //	馬 車	300 //
その他の農具	1,000 //	役馬2頭	550 //
肥料・農薬ストック	1,350 //	豚 2 //	100 //
現 金	6,000 //		

営農収支(1965-4~1966-3)

農業租収入④	7,000コントス
トマト	21,000本(1.5ha) 4,000コントス
チンヤ	200,000// (1.5//) 1,000 //
ピーマン	10,000// (0.3//) 800 //
ナス	3,000// (0.2//) 200 //
ニンジン	(0.5//) 800 //
その他	200 //

農外収入⑤ 1,243コントス

移動市売上利益 1,000コントス 株配当金その他 243コントス



支 出

家計費① 2,576 コントス

主 食	576 コントス	医療費	100 コントス
副食調味料	400 //	交通通信	100 //
嗜好品	200 //	交際娯楽	200 //
被服費	300 //	その他	200 //
教育費	500 //		

経営費② 2,301 コントス

労 賃	30 コントス	飼料費	100 コントス	肥料費	671
家畜購入費	300 //	糞薬費	500 //	その他	100 //
種苗費	500 //	材料費	100 //		

借負税金③ 100 コントス

差引余剰 (A + B) - (C + ① + ②) = 3,266 コントス

(注) a、同経営者は市内で週6日開かれる移動市(フェーラー)にて生産物を直売するかたわら適当な品を仕入れて販売している。

b、現在相当額の預金があるが、近く長距離輸送用大型トラックを購入し、ポ市ペロツタス市間の仲買業を経営の一環に取入れる予定とのことである。

㊦ カマクアン郡

同郡は、ボ市南方<sup>110</sup>前記ベロツタスとの中間にあり米作地帯として有名である。

面積2879平方料、人口45,000(市街地10,000)現在連邦州共同で大掛りな農地改革を推進しつつあることは知られている。

邦人移住としては戦後米作移民として業者により大抵に送り出されたが、実際に入植したものは17世帯、2単身であつた。

然しこれ等の者も殆んどが移転し現在わずか3世帯がとどまつているにすぎない。

職 業	戦 前			戦 後			備 考
	世帯	単身	人員	世帯	単身	人員	
農				3	—	16	△借地3 △そ業農家2
他							
計				3	—	16	

(注) 農家3世帯のうち1世帯は米作、1世帯は兼業農家である。

㊧ サンタ・ピトリヤード・バルマール郡

同郡は海岸最南端に位置し、ウルグアイ国に接している面積5,580平方料、人口18,000人(市街地8,500)の畜産、米作を主とした大部である。

邦人の入植は1959年より5回にわたり、18世帯(同<sup>1</sup>単身を含む)

が、そ菜栽培として業者により込まれたが立地条件が悪く常獲成績があがらず多くの農家が移転した。

現在は次のとおり4世帯が残りそ菜栽培に従事している。

職業	戦前			戦後			備考
	世帯	単身	人員	世帯	単身	人員	
農				4	—	24	△借地3分益1 △そ菜農家4戸
他							
計				4	—	24	

④ その他の郡

ペドロ・オゾーリオ、アロイオ・グランデ、ジャグアロン、カングスー、サンローレンソ・ド・スール、タツペス、サント・アントニオ・ダ・パトゥルーリヤ、オゾーリオ、トーレスの9郡

	職業	戦前			戦後			備考
		世帯	単身	人員	世帯	単身	人員	
ペドロ・オゾーリオ (表3. 53)	農				3	—	21	△分益3
	他				—	1	1	
アロイオ・グランデ ( // 2 )	農				2	—	11	△借地1分益1 △そ菜農家3
	他							
ジャグアロン ( // 3 )	農	1	—	3	2	—	10	△借地3分益1
	他				1	—	4	
カングスー ( // 10 )	農				1	—	8	△借地1 △そ菜農家1
	他							

サンローレンソー ・ド・スール (表3 (51))	農				1	—	5	△借地 1
	他							
タツベス ( " (54))	農				1	—	6	△借地 1
	他							△そ業農家 1戸
サント・アントニ オ・ダ・バトルーリヤ ( " (46))	農				1	1	5	△借地 2
	他							△そ業農家 2戸
オーゾリオ ( " (33))	農				1	2	7	△分益 3
	他	1	—	2				△そ業農家 3戸
トーレス ( " (57))	農	1	—	2	1	—	6	△借地 2
	他							△そ業農家 2戸
合 計	農	2	—	5	13	3	79	
	他	1	—	2	1	1	5	

(注) A、オーゾリオ郡は当州戦後移住第1号、2家族、1単身が初入植した郡である。

ウ、草原地帯

バジエ測候所(二級)の気象統計(1955~1964)

月別	気 温 C°						平均湿度 %	降雨量		
	平均	平均	絶対最高		絶対最低			平均降雨量 mm	降雨日数	
	最高	最低	温度	年月日	温度	年月日				
1	31.2	18.3	39.2	64-1-26	10.1	60-1-2	24.5	61.8	111.3	9
2	30.0	10.1	37.7	58-2-3	9.9	62-2-26	23.6	64.2	99.5	8
3	27.8	16.9	35.0	(64-3-10 57-3-31)	5.4	64-3-30	21.7	68.7	96.9	10
4	24.2	13.3	35.6	57-4-1	4.8	61-4-29	17.5	71.3	129.2	9
5	20.6	10.3	28.0	64-5-26	0.4	56-5-14	14.3	61.7	74.6	8
6	17.7	8.3	30.3	62-6-27 28	-1.8	56-6-30	12.1	73.8	91.4	10
7	17.7	8.3	30.2	58-7-23	-3.6	55-7-8	12.0	73.1	109.0	11
8	18.8	8.5	32.0	55-8-30	-2.0	55-8-1	12.7	71.8	108.1	11
9	20.5	10.8	34.4	58-9-27	0.2	64-9-2	15.0	74.0	139.3	12
10	23.8	13.0	33.7	61-10-5	4.1	61-10-30	17.8	70.5	170.5	10
11	26.5	15.1	38.9	55-11-27	6.1	55-11-37	21.0	64.8	71.5	7
12	29.4	17.6	38.6	55-12-24	7.3	56-12-4	23.0	61.8	02.8	9
年	23.6	13.2	33.2	64-1-26	-3.6	55-7-8	17.9	68.1	1291.1	114

(注) A、管内にドン・ベドリット、サンターナ・ド・リブラメント、  
サン・ガブリエル(各三級)測候所がある。

B、測候所の位置南緯 31°20'13" 西経 54°20'12.1"

⑦ パージェー郡

同郡は、ボ市より約400軒のウルグアイ国境地帯に在り、面積4700平方軒、人口8200人(市街地51000)特に羊毛、食肉の集散地として有名である。

市内の工場としては、食肉加工工場、製粉工場等がある。

⑧ サンターナ・ド・リブラメント郡

同市はボ市より740軒、ウルグアイ国リベイラ市と接し殆んど一体の街をなしている特異な所である。

郡の面積6950平方軒、人口61000人(市街地41000)、市内の工場としては食肉加工工場(鐘詰)がある。

同地方に住む邦人はリベイラ側(ウルグアイ国)と併わせて日本人会を組織し常に行き来をしている。

⑨ その他邦人の居住する郡としてサンガブリエル郡がある。

以上三郡の邦人次のとおり

	職業	戦 前			戦 後			備 考
		世帯	単身	人員	世帯	単身	人員	
パージェー (表3(3))	農				5	—	3.0	△借地5
	他	1	—	5	3	1	1.4	△そ菜農家5戸
サンターナ・ド・ リブラメント (// (4.3))	農				6	3	3.7	△自作1借地5 分益3
	他							△そ菜農家9戸
サンガブリエル (// (4.8))	農				—	2	2	△借地2
	他				—	1	1	△そ菜農家2戸
合 計	農				11	5	6.9	
	他	1	—	5	3	2	1.5	

(注)サンターナ・ド・リブラメントにはリベイラ側居住者を含む

## エ、東南山岳地帯

エンクルジャー・ド・スール測候所（二級）の気象統計（1955～1964）

月別	気 温 C°							平均湿度 %	降 雨 量	
	平均最高	平均最低	絶対最高		絶対最低		平均湿度		平均降雨量	降雨日数
			温度	年 月 日	温度	年 月 日				
1	27.7	17.4	36.0	63-1-2	9.7	60-1-2	21.9	73.0	175.8	12
2	26.8	17.1	33.1	64-2-28	9.7	62-2-25	21.2	78.3	99.0	9
3	25.6	16.4	32.1	57-3-4	6.2	64-3-30	20.0	78.6	100.1	10
4	21.8	13.4	30.1	59-4-1	4.5	61-4-29	16.7	78.3	143.2	9
5	18.4	10.2	27.4	63-5-8	0.7	62-5- <sup>29</sup> / <sub>30</sub>	13.6	78.3	88.0	7
6	16.1	9.3	27.0	62-6-27	0.0	(56-6-31 55-6-20)	11.5	80.1	110.5	9
7	15.9	7.7	25.3	59-7-18	-3.0	55-7-7	11.1	81.2	141.5	11
8	16.9	8.3	27.8	55-8-18	-0.2	55-8-1	10.7	77.6	143.5	7
9	18.9	10.7	30.1	58-9-27	0.2	60-9-2	14.4	81.2	137.0	9
10	21.2	12.2	32.2	57-10-8	3.3	62-10-20	16.0	79.0	170.0	9
11	24.5	14.0	35.0	62-11-28 55-11-28	6.0	55-11-3	18.5	70.6	68.3	5
12	26.2	15.5	35.4	62-12-29	7.7	59-12-11	20.3	68.9	81.2	6
年	21.6	12.7	36.0	63-1-2	-3.0	55-7-7	16.3	77.1	1,458.1	103

(注) A、管内にピラチニ及びカサババ・ド・スール（各三級）測候所がある。

B、測候所の位置 南緯 30°32'35" 西経 52°31'20"

⑦ カサババ・ド・スール郡

同郡は面積4,384平方料、人口44,000人(市街地7,000)郡内に、銅山(カマクアン鉱山)があることで有名である。郡内居住の邦人としては、同鉱山に勤務する植村氏(技師)一家族4名のみである。

オ、ウルグアイ河流域

ウルグアイヤナ測候所(二級)の気象統計(1955~1964)

月別	気 温 C°						平均湿度 %	降 雨 量		
	平均最高	平均最低	絶対最高		絶対最低			平均降雨量	降雨日数	
			温度	年月日	温度	年月日				
1	32.5	20.1	38.8	57-1-4	10.6	57-1-14	26.0	67.1	96.5	7
2	31.5	11.9	39.6	58-2-3	12.5	64-2-19 62-2-19	25.3	68.9	124.3	6
3	29.2	18.2	38.2	63-3-6	7.7	64-3-30	23.3	71.9	158.8	8
4	25.0	14.6	38.3	56-4-9	5.7	59-4-27 62-4-27	19.1	72.7	159.5	9
5	24.3	11.1	31.4	58-5-8 9	1.3	62-5-30	16.0	72.1	86.7	6
6	19.1	9.8	28.8	60-6-8	-0.6	61-6-14	13.8	72.4	70.0	7
7	19.1	9.5	28.2	59-7-18	-2.3	63-7-31	13.7	72.1	66.6	8
8	20.0	9.5	32.2	57-8-27 55-8-30	-1.4	63-8-6	14.3	73.6	68.9	7
9	22.4	11.9	36.6	58-9-27	2.1	64-9-3	17.1	73.0	115.5	9
10	25.0	14.5	34.4	57-10-17	5.5	55-10-1	19.6	71.8	145.8	8
11	28.9	16.6	38.8	62-11-28	8.3	55-11-3	22.5	68.0	93.4	5
12	31.4	18.6	37.3	64-12-24	11.3	63-12-14	24.4	63.4	130.5	6
年	25.5	14.5	39.6	58-2-3	-2.3	63-7-31	70.6	70.6	1,316.6	86

(注) A、管内にイライ(二級)、マルセリーノ、ラーモス、サンホルジャイタキ(各三級)の測候所がある。

B、測候所の位置 南緯29°49'23" 西経77°05'12"



⑦ アレグレッツナ郡

同郡は、面積7820平方軒、人口58000人(市街地36000)特に生産物としては小麦、畜産物で有名である。

郡内に火力発電所がある。

⑧ ウルグアイヤナ郡

同郡は、面積6560平方軒、人口68500人(市街地52000)ウルグアイ河をへだて、アルゼンチン国リブレス市と接している。

同郡への戦後邦人入植は古く前記サンベドロ耕地(1957年)以前に5世帯が入植した所である。

⑨ サンボルジャ郡

同郡は、面積6880平方軒、人口54000人(市街地21000)ウルグアイ河をへだて、アルゼンチン国サント・トメ市と接している。郡全体としては米及び畜産物が多い。市内に食肉加工工場がある。

⑩ 以上の他イタキ郡に2名の青年が居住し、そ業栽培に従事している。

以上4郡の邦人移住者次のとおり

	業	戦前(含独立三世)		戦後			備考
		世帯	単身	世帯	単身	人	
アレグレッツナ (表3の①)	農			2	1	16	△借地3 △宅建家3戸
	他				1	1	
ウルグアイヤナ (1155)	農			5	1	27	△借地6 △宅建家6戸
	他			3	-	13	
サンボルジャ (1147)	農	1	-	3	2	8	△借地5分益B △宅建家4戸
	他					16	
イタキ (1144)	農				2	2	△借地2 △宅建家2戸
	他						
合計	農	1	-	3	9	12	61
	他				3	1	

カ、ミツソンエス地域

サンルイス・ゴンザカ測候所(二級)の気象統計(1955~1964)

月別	気 温 C°							平均湿度	平均 降雨 降雨量 日数	
	平均 最高	平均 最低	絶対最高		絶対最低		平均 湿度			
			温度	年月日	温度	年月日				
1	32.0	19.7	39.4	63-1-3	11.4	62-1-16	26.3	64.9	120.0	8.4
2	31.2	19.0	38.6	58-2-13	11.2	64-2-19	14.5	68.4	215.6	8.3
3	29.5	18.0	37.1	63-3-7	5.5	64-3-30	22.9	70.3	142.6	8.4
4	24.9	14.8	35.5	59-4-9	5.2	56-4-11	19.2	75.9	197.9	10.1
5	21.8	12.4	30.9	58-5-9	0.0	58-5-25	16.1	75.5	111.7	6.6
6	19.9	10.2	29.8	62-6-27	-0.6	56-6-30	14.2	77.7	129.6	7.7
7	20.2	10.3	29.1	59-7-18	-2.8	55-7-31	14.3	75.1	107.0	9.3
8	21.9	10.8	32.7	63-8-30	-1.8	55-8-12	15.5	70.5	122.5	9.4
9	23.6	13.1	36.7	58-9-28	-1.8	64-9-3	17.5	72.2	149.7	9.7
10	25.5	14.5	34.3	59-10-26	5.2	64-10-2	19.4	69.6	136.8	9.5
11	28.7	16.2	37.4	63-11-25	7.7	64-11-11	21.9	63.4	132.8	7.3
12	30.6	18.3	37.7	62-12-27	9.8	63-12-20	24.0	62.8	143.9	8.7
年	23.3	13.3	32.4	63-1-3	-2.8	55-7-30	19.5	70.4	625.8	103.4

(注) A、管内にサント・アントニオ、サンダ・ローザ、バルメラード・ミツソンエス(各三級)測候所がある。

B、測候所の位置 南緯 28°23'53" 西経 54°58'18"

⑦ ツルア郡

同郡は面積 1,163 平方村、人口 22,000 人（市街地 3,500）の小郡である。

同地には 1964 年に産業開発青年隊出身者を主とした 11 人の青年により 220 ha の耕地を購入し雑作を主とする独立地が創られている。（現在は離脱者も出て 7 人が残つて共同経営に従事している。

⑧ その他の郡（サンタ・ローザ、サント・アンジェロ、カツイツベの 3 郡） の 3 郡 )

以上 4 郡の邦人次の通り

	職 業	職 前			職 後			備 考
		世帯	単身	人員	世帯	単身	人員	
ツルア (表 3 の ② ①)	農				5	3	13	
	他							
サンタ・ローザ ( // ④ ①)	農				1	—	3	
	他	1	—	3				
サント・アンジェロ ( // ④ ⑤)	農				1	—	2	
	他	2	—	6				
カツイツベ ( // ① ③)	農				—	4	4	
	他							
合 計	農				7	7	22	
	他	3	—	9				

キ、高西州

クルザルタ測候所(二級)の気象統計(1955~1964)

月別	気 温 C°						平均湿度	降雨量		
	平均最高	平均最低	絶対最高		絶対最低			平均降雨量	降雨日数	
			温度	年 月 日	温度	年 月 日				
1	30.3	18.3	37.4	64-1-28	10.0	62-1-16	24.0	60.8	118.7	10
2	29.4	17.3	36.2	62-2-14	10.2	62-2-12	23.8	64.5	119.3	9
3	27.8	17.3	38.0	62-3-6	4.2	64-3-30	21.7	66.7	156.3	9
4	24.6	13.4	33.0	62-4-1	3.8	62-4-27	18.5	68.9	164.5	10
5	21.6	10.3	30.4	58-5-9	0.2	56-5-18	15.5	69.2	96.9	7
6	19.7	8.1	29.0	62-6-15	-1.8	60-6-25 56-6-30	12.9	66.3	116.1	8
7	19.9	8.6	28.8	58-7-25	-3.2	55-7-8	13.7	67.7	111.1	11
8	21.2	9.5	32.4	55-8-31	-1.8	63-8-5 56-8-5	14.8	65.1	183.6	11
9	22.7	11.5	36.0	58-9-27	0.0	64-9-3	16.9	68.0	170.3	12
10	24.8	12.8	34.2	57-10-8	4.4	55-10- <sup>2</sup> <sub>33</sub>	19.0	64.8	173.6	10
11	27.6	14.5	35.6	55-11-29	4.0	64-11-10	21.4	57.8	113.7	8
12	29.5	16.5	36.2	60-12-9	9.0	59-12-12	22.9	57.9	120.1	10
年	24.9	13.9	38.0	62-3-6	-3.2	55-7-8	18.7	64.9	1,644.2	115

(注) A、管内にパツソ・フンド、サンチャゴ、ジュリオ・ヂ・カステ  
ーヨ、ソリルターヂ、ラゴア・ベルメーリヤ(各三級)  
測候所がある。

B、測候所の位置 南緯28°38'21" 西経53°36'34"

⑦ イジエイ郡

同郡は、面積1,915平方軒、人口68,000人(市街地22,000)、西北部地帯における雑作物(小麦、とうもろこし、マンジョカ等)および豚肉の集散地として最近栄えているところである。

市内には、食肉加工工場、脱穀機工場、搾油工場等がある。

また、カトリック系の大学がある。

邦人移住の関係では、1962年から63年にかけて他地域のそ菜農家(ボ市近郊、サンタ・ビトリアード・バルマール)が雑作経営のため転住して今日に至っている。

⑧ パツソフンド郡

同郡は、ボ市北西330軒、面積3,019平方軒、人口94,000人(市街地52,000人)の大部であり、とうもろこし、小麦、大豆の産地として有名である。

又、豚はイジエイに次ぐ飼育頭数をほこっている。

市内には、大きな食肉加工工場、製粉工場、搾油工場等がある。現在市内にわずかの邦人が居住している。

⑨ その他の郡

クルサルク、ジエリオ・デ・カスチーリョ、カラジーニョ、マラウ、エレシン、ラゴアベルメーリヤ、エズメラルダ、バカリヤ、サンチヤゴの9郡。

以上10郡の邦人数次のとおり

	職 業	戦 前			戦 後			備 考
		世帯	単身	人員	世帯	単身	人員	
イジュイ (表3の(23))	農				7	2	41	△自作2併地5 △分益1雇用1 △そ業農家4戸
	他	—	1	1				
バツソフント ( // (52))	農				2	3	12	△自作1分益4 △そ業農家4戸
	他							
(クルス・アルタ クルサルタ ( // (15))	農	1	—	8	3	—	25	△借地4 △そ業農家4戸
	他							
ジュリオ・デ カステーリオ ( // (26))	農				1	—	5	△借地1 △そ業農家1戸
	他							
カラジーニヨ ( // (12))	農				2	—	13	△借地2 △そ業農家2戸
	他							
マラウ ( // (29))	農				—	1	1	
	他				1	—	6	
エレシン ( // (16))	農				1	2	5	△分益3 △そ業農家3戸
	他							
ラゴア・ベル メーリヤ ( // (27))	農				2	1	9	△自作1分益2 △そ業農家2戸
	他							
エズメラルダ ( // (17))	農				1	—	2	△自作1
	他							
バカリヤ ( // (59))	農				1	—	3	△分益1
	他	1	—	4				
サンチャゴ ( // (44))	農				1	—	4	△借地1 △そ業農家1戸
	他				1	—	6	
合 計	農	1	—	8	21	9	120	
	他	1	1	5	2	—	42	

## ク、東北山岳地域

カシヤス・ド・スール測候所（二級）の気象統計（1955～1964）

月別	気 温 C°								降 雨 量	
	平均 最高	平均 最低	絶対最高		絶対最低		平均 湿度	平均 湿度	平均降 雨量 日数	
			温度	年月日	温度	年月日			mm	日数
1	27.4	16.7	34.8	58-1-7	8.4	(62-1-16 57-1-15)	20.9	77.0	175.1	14
2	26.5	16.5	34.8	58-2-13	8.6	60-2-7	20.4	79.3	120.6	13
3	25.4	15.4	31.4	63-3-18	5.2	64-3-30	19.2	79.7	139.4	13
4	21.7	12.7	30.4	62-4-7	3.0	56-4-12	16.1	82.4	161.7	13
5	18.8	9.7	27.8	58-5-8	-1.4	60-5-21	18.1	80.1	97.8	10
6	17.1	8.5	25.4	60-6- <sup>9</sup> 20	-2.4	(60-6-25 56-6-29)	11.6	81.2	140.3	12
7	15.6	7.6	28.5	58-7-22	-2.6	55-7-8	11.7	78.3	106.7	12
8	18.3	8.6	29.8	55-8-30	-3.0	55-8-1	12.6	77.7	183.3	13
9	20.4	11.1	31.1	58-9-27	-1.6	64-9-3	14.7	80.3	210.8	15
10	22.1	12.0	31.8	60-10-6	2.4	62-10-9	16.1	70.4	171.4	13
11	24.5	13.3	33.9	62-11-28	4.8	(56-11-2 55-11-4)	18.0	73.4	119.3	12
12	26.4	15.2	33.4	62-12-29	7.2	56-12-4	19.6	74.6	160.5	13
年	22.0	12.3	34.8	58-1-7 58-2-13	-3.0	55-8-1	16.2	93.4	1,786.9	155

(注) A管内にサンフランシスコ・ド・パウラ、グアボレ、ベント・ゴ  
サルベス（各三級）測候所がある。

B測候所の位置 南緯 29°10'25" 西経 51°12'21"

### ⑦ カシヤス・ド・スール郡

同郡は、ボ市北方110村にあり、面積1,729平方村、人口107,500人（市街地69,000）の大郡である。

当地方は、イタリー系移民により開発されたところであり、特にブドウ酒の醸造で知られている。

その他貴金属細工等も特産品として知られている。

市内の工場としては、ブドウ酒、アルコール工場、ステンレス等軽金属工場、電気製品工場、自動車の車体工場、木材家具工場、ガラス工場、メリヤス工場等がある。

また特殊なものとして、州立ブドウ酒醸造試験場があり、業者の便に供している。

邦人にとっては比較的歴史も古く、戦前より当地にて営生に従事するものがあつた。戦後は雑作地として直業者3世帯を入植せしめたが、これらの者は全員他地域に転住した。

① その他としてベント・ゴンサルベス郡及びベラノポリス郡に各1世帯が居住している。

以上2郡の邦人数次のとおり

	業	戦 前			戦 後			備 考
		世帯	单身	人員	世帯	单身	人員	
カンヤス・ド・スール (表3の①④)	農	3	—	13	2	—	16	△借地4.分益1
	他	2	—	4				△そ業農家4戸
ベント・ゴンサルベス ( // ⑤)	農				1	—	3	△借地1
	他							△そ業農家1戸
ベラノポリス ( // ⑥①)	農							
	他				1	—	4	
合 計	農	3	—	13	3	—	19	
	他	2	—	4	1	—	4	



(表3) ※リオ、グランデ、ド、スール州内邦人移住者一覧表

(1966年5月1日現在)

区分 地区名	職業別	職前移住者(含独立二世)			戦後移住者			移住者合計(含独立二世)			直来 米故 (合同件)	営農形態(戸数)				経営の支柱 (農家戸数)		就学児童			国際結婚	未婚青年 (20才以上)					
		世帯数	人員	単身	世帯数	人員	単身	世帯数	人員	単身		自作	借地		分益		雇	用	そ	菜		その他	小学	中学	高校	男	女
													旧	新	旧	新											
(1) ALEGRETE アレグレッチ	農 他				2	15(3)	1	2	15(3)	1	4				3					3	5				3		
(2) ARROIO GRANDE アロイオ、グランデ	農 他				2	11(1)		2	11(1)		2			1		1				2	4	1					
(3) BAGÉ バジェー	農 他	1	5(5)		5	30(4)		5	30(4)		5			5						5	7	4		1(1)	3	1	
(4) BARRA DO RIBEIRO バラ、ド、リベイロ	農 他				1	8(4)	1	1	8(4)	1	1					2				2	2	1			1		
(5) BENTO GONCALVES ベント、ゴンサルベス	農 他				1	3(2)		1	3(2)					1						1					1		
(6) CACAPAVA DO SUL カサババ、ド、スール	農 他				1	4		1	4																		
(7) CACHOEIRA DO SUL カシヨエイラ、ドスール	農 他				7	35(7)		7	35(7)		8		2	5						6	1	8			4	2	
(8) CACHOEIRINHA カシヨエリーニャ	農 他				14	68(19)		14	68(19)		14			14						14	10	4		1	2		
(9) CAMAQUÃ カマクワン	農 他				3	16(1)		3	16(1)		3			3						2	1	1	2		3	2	
(10) CANGUCU カングスー	農 他				1	8		1	8		1			1						1	2						
(11) CANOAS カノアス	農 他	1 2	5(5) 10(8)		3 1	17 4(3)	2	4 3	22(5) 14(11)	2	5		1	1	1	3				5	1	2	3(1)		2(1)	7(1)	1(1)
(12) CARAZINHO カラジーニョ	農 他				2	13(4)		2	13(4)		2			2						2	2	1			1		

① ( ) 内の数字はすべて内数。  
 ② 移住者欄の ( ) 内は伯国籍者数。  
 ③ 就学児童 ( ) 内は旧移住者の子弟数。

④ 国際結婚欄の ( ) 内は旧移住者および二世の数。  
 ⑤ 未婚青年欄の ( ) 内は二世あるいはこれに準ずる者の数。

区 分 地区名	職業別	戦前移住者(含独立二世)			戦後移住者			移住者合計(含独立二世)			直 米 同 姓 世帯数	管 理 形 態 (戸数)								管 理 の 支 柱 (農家戸数)		就 学 児 童			国 際 結 婚	未 婚 青 年 (20才以上)		
		家 族		単 身	家 族		単 身	家 族		単 身		自 作		借 地		分 益		雇 用		ノ 業	そ の 他	小 学	中 学	高 校		男	女	
		世帯数	人 員		世帯数	人 員	世帯数	人 員	世帯数	人 員		旧	新	旧	新	旧	新	旧	新									
13 CATUIPE カツイベ	他						4			4	4					4			4								4	
14 CAXIAS DO SUL カシアス・ド・スール	他	3	13 (9)		2	16 (5)		5	29 (14)		2		2	2	1				4	1	6	1		2	2	2	2	1
15 CRUZ ALTA クルス・アルタ	他	1	8 (7)		3	25 (10)		4	33 (17)		4		1	3					4		8	5	2		3	3	2	
16 ERECHIM エレシム	他				1	3	2	1	3	2	1					3			3		1					2		
17 ESMERALDA エズメラルダ	他				1	2 (1)		1	2 (1)				1			1				1				1				
18 ESTANCIA VELHA エスタンシア・ベリヤ	他				3	15 (3)		3	15 (3)		2		2	1					2	1		1			3	2		
19 ESTEIO エステイオ	他	1	4 (4)		6	24 (8)		6	24 (8)		4			5			1	5	1	2	1			1				
20 GIRUÁ ジルーア	他				5	10 (8)	3	5	10 (5)	3			8							8				1	3			
21 GRAVATAÍ グラバタイ	他	3	18 (12)		39	199 (39)		42	217 (51)		39	2	5	1	30	4			58	4	18	14	2 (1)		20 (3)	3 (1)		
22 GUAÍBA グワイバ	他	4	19 (17)		5	22 (7)	2	9	41 (24)	2	4		2	4	5				8	3	6 (2)	1 (1)		2 (2)	4 (2)			
23 IJUÍ イジュイ	他				7	39 (8)	2	7	39 (8)	2	9		2	5	1	1	4	5	10	1					5 (1)	1		
24 ITAQUÍ イタキ	他						2			2	2			2					2						2			
25 JAGUARÃO ジャグワロン	他	1	3 (3)		2	10 (2)		3	13 (5)		3		1	1	1				2	1	1				2			



地区名	区分	職 業 別	戦前移住者(含独立二世)			戦後移住者			移住者合計(含独立二世)			単 身 数 ( 同 伴 )	當 地 形 態 (戸 数)						経 営 の 支 柱 ( 農 家 戸 数)		就 学 児 童			国 際 婚 嫁	未 婚 青 年 ( 20 才 以 上)			
			家 族		単 身	家 族		単 身	家 族		単 身		自 作		賃 地		分 益		雇 用		ソ 菜	そ の 他	小 学		中 学	高 校	男	女
			世 帯 数	人 員		世 帯 数	人 員		世 帯 数	人 員			旧	新	旧	新	旧	新	旧	新								
③⑦	SANTA CRUZ DO SUL サンタクルスド.スール	農 他				3	25 (7)		3	25 (7)		2				3				3		5	2			1		
④①	SANTA MARIA サンタ.マリア	農 他				15	69 (20)		15	69 (20)		20	6	7	2					15		16	5 (3)	1 (1)		5 (1)	1 (1)	
④①	SANTA ROSA サンタ.ローザ	農 他				1	3 (2)		1	3 (2)										1					1 (1)			
④②	SANTA VITÓRIA DO PALMAR サンタウイトーリアド パルマル	農 他				4	24 (1)		4	24 (1)		4	1	3	1					4		4				4	2	
④③	SANTANA DO LIVRAMENTO サンタナ.ド.リブラメント	農 他				6	34 (11)	3	6	34 (11)	3	4		5	3					9		4				6		
④④	SANT JAGO サンチャゴ	農 他				1	4 (2)		1	4 (2)		2		1						1								
④⑤	SANTO ANGELO サント.アンジェロ	農 他				1	2		1	2				1						1					2 (2)			
④⑥	SANTO ANTONIO DA PATRULHA サント.アントニオ.ダ パトウルーリヤ	農 他				1	4	1	1	4	1	2		2						2						2		
④⑦	SÃO BORJA サン.ボルジャ	農 他	1	3 (2)		2	8 (1)	8	3	11 (3)	8	8		2	8					4	7					8		
④⑧	SÃO GABRIEL サン.ガブリエル	農 他						2			2	1		2						2						3		
④⑨	SÃO JERONIMO サン.ジエロニモ	農 他						1			1						1			1						1		
⑤①	SÃO LEOPOLDO サン.レオポルト	農 他	3	15 (11)		13	74 (17)	1	16	89 (23)	1	12	2	1	1	13				16	1	5	12 (3)	3 (3)	4 (2)	15 (5)	5 (2)	
⑤①	SÃO LOURENÇO DO SUL サン.ローレンス.ド.スール	農 他				1	5	1	5			1								1		1				1		

区分 地区名	職業 別	戦前移住者(含独立二世)			戦後移住者			移住者合計(含独立二世)			直 来 数 (含 同 伴)	営 業 形 態 (戸 数)				経 営 の 支 柱 (農 家 戸 数)		就 学 児 童			国 際 結 婚	未 婚 青 年 (20才以上)					
		家 族		単 身	家 族		単 身	家 族		単 身		自 作	借 地		分 益		雇 用		ソ 菜	其 他		小 学	中 学	高 校	男	女	
		世 帯 数	人 員		世 帯 数	人 員	単 身	世 帯 数	人 員	単 身		旧	新	旧	新	旧	新	旧				新	小学	中学			高校
(52) SÃO SEBASTIÃO DO CAÍ サンセバ スチオン、ドカイ	農				1	5		1	5									1		2							
	他									1																	
(53) SAPUCAIA DO SUL サブカイア、ドスール	農				1	5		1	5																		
	他	8	45 (38)	1(1)	12	48 (8)	4	20	93 (46)	5 (1)	3								1		8 (3)	7 (5)	6 (5)	1 (1)	14 (4)	8 (6)	
(54) TAPES タツペス	農				1	6 (3)		1	6 (3)																		
	他									1										1	2				1		
(55) TAQUARA タクワラ	農																										
	他				1	4		1	4		1										2						
(56) TAQUARI タクワリー	農				1	6		1	6																		
	他									1										1					2		
(57) TORRES トーレス	農	1	2 (1)		1	6 (4)		2	8 (5)																		
	他				5	26 (9)	1	5	26 (9)	1									2		2						
(58) URUGUAYANA ウルグワイアーナ	農				3	13 (5)		3	13 (5)																		
	他									7				6					6		1	1			3		
(59) VACARIA ヴァカリア	農				1	3		1	3																		
	他	1	4 (4)					1	4 (4)												1			1 (1)			
(60) VENANCIO AIRES ヴェナンシオ、アイレス	農				1	3		1	3																		
	他									1																	
(61) VERANÓPOLIS ヴェラノポリス	農																										
	他									1															1		
(62) VIAMÃO ヴィアマオン	農	2	14 (10)		31	139 (28)	16	33	153 (38)	16	37			6	1	36	4		1	48	1	13	8	1	1	33 (4)	8 (1)
	他																										
リオ、グランデ ド、スール州 合計	農	34	199 (122)	2	299	1,541 (361)	86	333	1,720 (483)	8																	
	他	83	373 (294)	33 (31)	85	330 (102)	55	168	703 (396)	88 (31)																	
	計	117	552 (416)	35 (31)	384	1,871 (463)	141	501	2,423 (879)	176 (31)	387	12	52	23	260	1	64	0	9	345	76	285 (48)	137 (45)	26 (20)	53 (17)	351 (79)	74 (33)

## ( 2 ) サンタ・カタリーナ州関係

州内の邦人移住者入植地域は、巻末表4のとおり29地域(28郡)にわかれているが、その主なものについて略記する。

整理の都合上次の5地域を移住地に分類し、便宜上その中の代表的測候所の気象統計表を使用する。なを統計表は最近のものが入手出来ないので若干古いものを用いた。

ア、海岸北部地域(ブルメナウ及びサン・フランシスコ・ド・スール測候所)

イ、海岸南部地域(ウルサンガ及びラグーナ測候所)

ウ、リオネグロ地域(バアリーニョス測候所)

エ、西部地域(シャンシャレー測候所)

オ、中山部地域(ラージェス及びカンボス・ノーボス測候所)

カ、ラーモス移住地

### ア、海岸北部地域

この地域には、ブルメナウ、ブルスケ、カンボアレグレ、カスバル、グラミリン、イリヨツタ、イダジャイ、ジヨインビレー、ポルト・ベリヨ及びチジュカの10郡が含まれている。

(1) プルナウ測候所の気象統計 (1922~1938)

月 別	気 温 C°						平均 湿度	降 雨 量		
	平均 最高	平均 最低	絶 对 最 高		絶 对 最 低			平均 湿度	平均 降雨 量	降雨 日数
			温度	年 月 日	温度	年 月 日				
1	31.8	20.0	43.0	31-1-5	10.5	28-4-2	24.5	83.1	191.9	
2	31.6	20.2	42.0	31-2-20	10.0	24-2-26	24.4	84.3	182.5	
3	30.4	19.4	40.8	30-3-13	9.0	36-3-4	23.1	84.6	133.9	
4	28.0	17.4	36.3	30-4-9	6.2	34-4-28	21.4	85.8	102.9	
5	24.8	14.0	33.8	31-5-3	1.1	23-5-14	18.2	86.8	93.9	
6	22.3	12.2	33.2	34-6-4	-1.0	21-6-8	16.2	87.6	108.2	
7	22.1	11.3	33.0	30-7-31	-2.0	23-7-13	15.6	86.9	83.8	
8	23.2	12.1	35.6	30-8-2	-0.6	36-8-10	16.5	86.0	97.4	
9	23.7	13.8	33.7	24-9-24	1.9	20-9-26	17.8	86.3	122.9	
10	25.7	15.4	37.4	32-10-28	3.2	22-10-10	19.5	84.2	127.1	
11	28.5	17.0	38.7	28-11-15	6.1	27-11-10	21.6	82.1	106.0	
12	30.9	18.9	40.8	23-12-3 31-12-18	8.6	23-12-9	23.5	82.3	126.6	
年	26.9	16.0	43.0	31-1-5	-2.8	23-7-13	20.2	85.0	1,456.6	

(注) 測候所の位置 南緯 26°55' 西経 49°03'

(2) サンフランシスコ・ド・ヌール測候所の気象統計 (1923 ~ 1942)

月別	気 温 °C						平均 温度	降 雨 量		
	平均 最高	平均 最低	絶 对 最 高		絶 对 最 低			平均 温度	平均 降雨量	降雨 日数
			温度	年 月 日	温度	年 月 日				
1	27.9	20.9	37.8	28-1-21	13.1	23-1-4	23.9	85.4	222.6 <sup>mm</sup>	
2	28.0	21.0	36.4	32-2-4 37-2-19	14.7	24-2-26	24.0	86.5	258.1	
3	27.7	20.8	36.5	25-3-19	15.2	36-3-4	23.7	86.2	250.0	
4	25.8	18.9	35.0	41-4-22	12.0	59-4-28	21.8	87.2	160.2	
5	23.3	16.0	32.3	41-5-3	3.3	23-5-13	19.5	86.7	144.7	
6	21.9	14.6	31.8	34-6-5	3.3	31-6-29	17.9	86.5	86.0	
7	20.6	13.3	30.1	35-7-10	2.8	31-7-31	16.6	85.9	64.9	
8	21.2	13.6	32.6	30-8-8	2.6	31-8-8	17.1	84.6	100.1	
9	21.5	14.5	27.9	35-9-4	7.9	41-9-11	17.6	86.5	135.8	
10	23.1	16.1	30.9	31-10-25	9.3	24-10-13	19.3	84.4	149.3	
11	24.8	17.9	34.8	32-11-20	11.3	27-11-1	20.9	83.4	135.9	
12	26.8	19.8	38.4	42-12-12	12.3	24-12-1	22.9	84.4	143.4	
年	24.4	17.3	38.4	42-12-12	2.6	31-8-8	20.4	85.6	1851.9	

(註) 測候所の位置 南緯 2° 15' 西経 48° 40' で海岸の島にある。



⑦ ジョインビレー郡

同郡は、面積1,081平方杆、人口82,500人でサンタ・カタリーナ州内では州郡フロリャノポリス、中山部の中心都市ラージェスに次ぐオ3の都会である。

この都市はかつて後記ブルメナウ郡とともに独乙人によつて開発された所といわれている。

市内の工場としては金属製品の大工場(TUPI)の他、塩化ビニール製品工場、冷蔵庫等の製造工場、モートル等の農機具製造工場、石鹼製造工場、有名な瓦製造工場、各種家具工場、酪農、農産食品加工工場、綿製品、洋服の生地等の製造工場、製粉工場、皮革工場等、また特殊なものとして医薬品製造工場、ビール工場等があり、工業都市として知られている。また大学としてはフロリアノポリス総合大学の工学部がある。

当地への日本人の入植は戦後比較的早くからはじまつたが全部がサンパウロ、クリチバ方面からの転住者である。

一時前記TUPI会社の農地へ日本から相当数導入する計画があつたが沙汰やみとなつた。

⑧ ブルメナウ郡

同郡は、面積452平方杆、人口78,000人、前記ジョインビレーにつぐ同州オ4の大都市であり、前記のとおり独乙人ブルメナウ博士により開発されたところである。

市内の工場としては、綿製品(特にタオルが有名)工場、煙草工場(葉巻)、鋳物工場、石鹼工場、楽器工場等がある。

大学としてはフロリャノポリス総合大学の学部(化学)がある。

特殊な施設として煙草試験場(会社経営)は有名である。

現在邦人6世帯（うち1世帯はリオ・グランデ・ド・スール州分益農として来伯後転住した）が居住している。

⑦ イタジャイ郡

同郡は特に港として有名であり、面積281平方杆、人口55,000人、当初ラーモス移住地への入植者（日本からの）をこの港から上陸せしめる予定であつた。（港が若干浅く大きな船は入港出来なむとの理由により中止となる。）

市内の工場としてはセメント工場、製紙工場、綿製品工場、製粉工場、精塩工場（岩塩の精製）、魚の加工工場等がある。

邦人は戦前、戦後を併せ5世帯が農業（雑作）に、漁業に、商業に従事している。

⑧ その他の郡

ブルスケ、カンボアレグレ、カスバル、ダウラミリン、イリヨッタ、ポルト・ペーリヨ、チジニカの7郡にそれぞれ若干づつの邦人が居住し農業に漁業にあるいは商業に従事している。

これ等10地区の邦人移住者の数次のとおり

	職業	戦前(含独立二世)			戦後			備考
		世帯	単身	人員	世帯	単身	人員	
ジョインビレー (表4の⑬)	農	4	1	24	2	-	6	△自作1.借地5 雇用1. △そ菜農家5戸
	他	1	-	6	-	2	2	
ブルーメナウ ( 〃 ①)	農				4	-	13	△分益 4
	他	2	-	8				
イタジャイ ( 〃 ⑭)	農	2	1	16				△自作 2
	他	2	1	10	1	-	6	
ブルスケ ( 〃 ②)	農							△会社員1
	他	-	1	1				
カンボ・アレクレ ( 〃 ③)	農				-	2	2	△借地 2
	他							
カスバル ( 〃 ⑩)	農				1	-	4	△借地 1. △そ菜農家1戸
	他							
グワラミリン ( 〃 ④)	農	1	-	7				△借地 1. △そ菜農家1戸
	他							
イリヨツタ ( 〃 ⑪)	農	2	-	9	1	-	8	△自作2.雇用1
	他							
ポルト・ペーリヨ ( 〃 ④)	農							△漁業2戸
	他	1	1	12	1	-	3	
チジュカ ( 〃 ②)	農				2	-	7	△自作 2
	他							
合 計	農	9	1	56	10	2	40	
	他	6	1	37	2	2	11	

# イ、海岸南部地域

この地域には、フロリアノポリスをはじめとして、クリシエウマ、グラバートル、パリオツサ、サンルジエロ、ツパロンの6郡が含まれている。

(1) ラグーナ測候所の気象統計(1918~1941)

月別	気 温 C°								降 雨 量	
	平均 最高	平均 最低	絶対最高		絶対最低		平均 温度	平均 湿度	平均 降雨量	降雨 日数
			温度	年月日	温度	年月日				
1	27.4	20.5	36.9	29-1-20	13.8	28-1-2	23.6	83.3	178.1	
2	27.33	20.3	37.3	25-2-13	13.0	30-2-27	23.6	83.0	134.3	
3	26.7	19.9	36.3	30-3-12	10.6	30-3-3	23.0	83.6	143.0	
4	24.9	17.9	32.1	30-4-29	10.8	39-4-28	21.0	83.6	146.2	
5	21.9	14.9	37.1	29-5-9	4.0	25-5-27	18.2	83.3	131.7	
6	20.0	13.1	31.3	30-6-25	2.2	18-6-24	16.1	83.9	100.3	
7	19.2	12.2	34.7	29-7-13	2.0	23-7-14 30-7-5	15.5	84.1	89.5	
8	19.8	12.8	35.7	29-8-11	1.4	31-8-31	16.0	84.4	157.3	
9	20.1	13.9	31.1	27-9-30	5.6	27-9-6	16.8	85.0	157.5	
10	21.3	15.5	35.1	32-10-28	5.2	24-10-11	18.2	84.1	142.4	
11	23.4	17.1	31.4	31-11-15	9.2	29-11-1	20.1	82.0	114.0	
12	25.6	18.9	35.3	40-12-30	11.8	29-12-19	22.1	82.3	99.8	
年	23.1	16.4	37.3	25-2-13	1.4	31-8-31	19.5	83.5	1,564.1	

(注) 測候所の位置南緯28°29' 西経48°48'の海岸

(2) ウルサンガ測候所の気象統計 (1924~1942)

月別	気 温 C°							降 雨 量		
	平均 最高	平均 最低	絶 对 最 高		絶 对 最 底		平均 湿度	平均 降雨量	降雨 日数	
			温度	年 月 日	温度	年 月 日				
1	29.7	18.1	39.8	(25-1-27 38-1-8)	9.6	(39-1-26 33-2-15)	23.2	80.1	212.8	
2	29.3	17.9	38.2	31-2-20	9.8	41-2-26	22.9	81.8	175.9	
3	28.7	17.2	38.6	(30-3-13 26-3-28)	7.6	29-3-21	22.2	81.7	145.2	
4	26.0	14.7	36.0	(28-4-9 28-4-10)	2.6	39-4-20	19.6	83.4	112.1	
5	23.2	11.6	34.0	27-5-25	-1.8	29-5-30	16.8	83.2	112.4	
6	21.8	9.8	32.4	26-6-20	-2.6	42-6-20	15.1	83.1	93.6	
7	21.6	8.8	33.6	41-7-30	-3.2	30-7-16	14.4	80.7	78.1	
8	22.7	9.9	36.6	33-8-29	-1.2	36-8-10	15.6	80.1	119.3	
9	22.9	11.2	37.8	36-9-4	-1.0	41-9-5	16.5	80.4	132.0	
10	24.2	13.1	36.0	32-10-27	1.0	24-10-1	18.2	80.2	130.8	
11	26.6	14.5	37.0	42-11-29	5.6	(24-11-29 31-11-11)	20.2	79.8	119.9	
12	28.2	16.7	39.0	40-12-7	7.0	24-12-1	22.3	78.1	126.3	
年	25.5	13.6	39.8	38-1-8	-3.2	30-7-16	18.9	81.0	1558.4	

(注) 測候所の位置南緯28°31' 西経49°20'

⑦ フロリヤノボリス郡

同郡の大部分はフロリヤノボリス島で、わずか一部が橋により対岸本土にまたがっている。面積485平方村、人口115,000人、同州第一の大都会。尚州都であり州政治、経済、文化の中心地である。

しかし同地が海岸にあり、州西部との交通が不便なため州都移民の声もある。

また同島は観光的に有名であり特に夏季の海水浴場として知られている。

市内に有名な工場はなく、小型の造船所と魚の加工工場がある程度である。

大学としては国立総合大学の経済薬学、医学、歯科、文理、法学、機械工学の各部があり、邦人子弟も入学している。

郡内居住の邦人は、全部サンパウロ方面から戦後移住してきたもの、及び軍人として勤務している者のみである。

#### ④ クリシューマ郡

同郡は面積292平方軒、人口約6000人炭鉱の街として有名である。また同地を中心として南方アララングア、北東ツパロンにかけて大水田地帯として知られている。

邦人移住者の関係では、1964年にポルト・アレグレ近郊より7世帯の農家が水稲栽培のため同地に転任し共同で耕作に従事していたが、予想に反し、一作年の冷害に、昨年の水害と災害による被害が大きく初期の成果があがらぬまま、近く再度他に転住せねばならない状況になつている。（現在組合再建のため3世帯がボ市近郊グラバタイに借地、そ業栽培をはじめている。）

㊦ その他の郡

グラバタール、パリヨツサ、サン・ルジエロ、ツパロンの4郡であるが、ツパロンは街も比較的大きく、最近はその種類の消費量も伸びて来ている。またグラバタールには、温泉があり遠くボ市方面からも相当数の湯治客等がありこれ等を相手に邦人そ業農家も更に増加が予想される。

以上6地区の邦人数次の通り

	職 業	戦 前			戦 後			備 考
		世帯	単身	人員	世帯	単身	人員	
フロリアノボリス (表4の(10))	農	1	—	6	1	—	6	△分益 2
	他	7	2	47	4	—	13	△そ業農家 1戸
クリシユーマ ( // (8))	農				4	—	17	△借地 4
	他							
グラバタール ( // (12))	農				—	3	3	△借地 3 (共同)
	他							
パリヨツサ ( // (24))	農	2	—	8	—	1	1	△借地 3
	他							△そ業農家 2戸
サン・ルジエロ ( // (26))	農				—	1	1	△借地 1
	他							△そ業農家 1戸
ツパロン ( // (28))	農	1	1	7	—	3	3	△借地 5
	他	1	—	9				△そ業農家 5戸
合 計	農	4	1	21	5	8	31	
	他	8	2	56	4	—	13	

(注) フロリアノボリスには職業軍人(二世)2世帯14名が含まれている。

## ウ、リオ・ネグロ流域

この地域には、カノイニヤ、マフラ、ババンドー、トウレス、パラス、ポルト・ウニオンの5郡が含まれている。

パリーニョス測候所の気象統計(1923~1942)

月別	気 温 C °						平均湿度	降 雨 量		
	平均最高	平均最低	絶対最高		絶対最低			平均湿度	平均降雨量	降雨日数
			温度	年 月 日	温度	年 月 日				
1	28.3	15.6	35.4	25-1-2	6.7	42-1-25	20.8	80.3	168.1	
2	28.2	15.4	35.0	25-2-28	3.6	36-2-10	20.5	81.0	132.3	
3	27.6	14.8	35.1	23-3-13	1.8	29-3-21	17.8	81.3	114.9	
4	24.1	11.4	32.9	27-4-7	-2.8	39-4-29	16.8	84.1	113.4	
5	20.6	7.6	29.4	25-5-3	-5.0	35-5-24	13.5	86.0	136.3	
6	19.2	5.9	27.9	37-6-28	-8.1	42-6-20	11.8	86.2	154.4	
7	19.1	4.4	29.2	30-7-20	-8.4	33-7-14	11.0	83.2	65.0	
8	21.2	5.8	31.5	33-8-29	-6.8	36-8-10	12.8	81.0	115.6	
9	21.8	8.6	33.9	24-9-24	-6.0	41-9-5	14.4	79.7	132.2	
10	24.1	10.8	34.2	36-10-3	-2.8	34-10-12	16.5	77.3	165.9	
11	26.1	12.4	33.8	24-11-2 26-11-28	0.4	30-11-23	18.3	76.0	126.1	
12	28.2	14.7	36.8	24-12-15	3.8	22-12-29	20.3	77.0	137.1	
年	24.0	10.6	36.8	24-12-15	-8.4	33-7-14	16.4	81.8	1558.3	

(注) A. 測候所の位置南緯26°15' 西経50°48'

B 同測候所は現在廃所となりポルト・ウニオンに新設されている。



#### ⑦ マフラ郡

同郡は面積 1,650 平方村、人口 35,000 人、クリチーパよりポルト・アレグレに向う国道沿いでサンタカタリーナ州への入口に位置し、河（リオ・ネグロ）一つを境としてパラナ州のリオ・ネグロ市と接している。

邦人にとつては、かつてカトリック神父等により創設された浦上植民地（前記）のあつたところである。

現在は、郡部にわずかに種馬鈴薯の栽培をしている農家と市内で商業に従事している二世家族が居住するのみである。

#### ⑧ その他の郡

パバンドゥーバ、トゥレス・バラス、カノイーニヤ、ポルト・ウニオンの 4 郡であるがこの地帯は全帯に地味も肥沃（テラ・ベルメーヨと称している）であり気候的にも種馬鈴薯の栽培に適しているため、最近サンパウロ方面から転住する者多く、同地方の農家は全戸この種馬鈴薯の栽培に従事している。

次にこの種馬鈴薯の栽培は当初相当な資本が必要であるが、一旦廻転がはじまると返めて利益が大きく、食用の馬鈴薯栽培と異つて比較的堅実でもあるため、最近はこの地域に目をつけるものが多くなり近い将来相当数のバクテイロが入植するものと思われる。

この他ポルト・ウニオンから南方カサドールに向う道路（鉄道）沿線はパラナ松の原生地帯でもあり土地肥沃、地形的にも余り起伏なく、将来邦人の温帯果樹、畜産等を取入れたコロニヤ創設に最も適した地域と観察される。

以上 5 地域の邦人数次の通り

	職 業	戦 前			戦 後			備 考
		世帯	単身	人員	世帯	単身	人員	
マ フ ラ (表 4 の ①⑧)	農				2	—	6	△ 借地 2
	他	1	—	4				
カノイーニヤ ( // ⑤)	農							
	他	2	—	12				
トウレス・パラス ( // ②⑨)	農	3	—	13	1	2	7	△ 自作 3 借地 3
	他							
ババンドウーバ ( // ①⑨)	農	1	—	2	2	—	9	△ 自作 1 借地 1 分益 1
	他							
ホルト・ウニオン ( // ②②)	農							
	他	1	—	7				
合 計	農	4	—	15	5	2	22	
	他	4	—	23				

## エ、西部地域

この地域は現在殆んど邦人が居住して居らず、わずかにシャベコー、  
 コンコルディアに居るのみであるが同地域の特に関西部アルゼンチン国  
 のミツシヨネス州よりは土 肥沃（謂所テラー・コロシヤ）であり将  
 来の入植が相当大巾に可能な地域と思われる。

シヤンシャレー測候所の気象統計（1931～1937）

月 別	気 温 C°							平均 湿度	降 雨 量	
	平均 最高	平均 最低	絶 対 最 高		絶 対 最 底		平均 湿度		平均 降雨量 mm	降雨 日数
			温度	年 月 日	温度	年 月 日				
1	27.9	14.9	36.0	33-1-24	5.9	35-1-3	20.6	81.7	255.4	
2	27.2	14.8	33.4	35-2-7	-4.5	40-2-8	20.2	84.0	186.2	
3	26.5	13.5	32.6	35-3-13	-0.1	37-3-27	19.0	84.1	224.6	
4	23.7	9.9	37.0	30-4-1	-3.9	39-4-28	15.8	85.1	202.0	
5	22.0	7.6	34.1	40-5-29	-5.5	35-5-24 37-5-21	13.4	86.1	196.9	
6	20.9	6.7	28.6	36-6-12	-7.9	42-6-20	12.3	85.8	224.1	
7	19.5	4.7	27.3	41-7-30	-11.0	35-7-14	11.2	83.5	160.9	
8	22.5	6.3	31.8	33-8-29	-7.9	36-8-11	13.7	80.3	203.0	
9	22.4	8.0	31.4	34-9-4	-8.1	37-9-13	15.1	81.6	215.2	
10	24.1	9.5	32.3	36-10-3	-3.9	37-10-27	16.1	81.0	249.5	
11	25.9	11.1	34.1	38-11-11	-1.2	41-11-113	12.7	79.4	169.7	
12	27.6	13.7	34.0	40-12-6	2.1	36-12-10 38-12-11	21.4	79.9	194.7	
年	24.2	10.1	37.0	30-4-1	-11.0	33-7-14	16.4	82.7	2462.2	

（注） 測候所の位置南緯26°51' 西経52

## オ 中山部地域

この地域は、現在ラーモス移住地を含め邦人の最も多く入植している地帯であり、温帯果樹、高原野菜に適した地域として注目されている。

関係郡としては、現在のところカンボス・ノーボス、クリチバーノス、ラージエス、サン・ジョアキン、リオ・ド・スールの5郡であるがピテイラ、カサドル方面にかけて、近い将来邦人の入植がすんで行くことと思われる。

### (1) ラージエス測候所の気象統計 (1915~1940)

月別	気 温 C°							平均湿度	降 雨 量	
	平均最高	平均最低	絶対最高		絶対最低		平均湿度		平均降雨量	降雨日数
			温度	年月日	温度	年月日				
1	26.6	15.3	33.4	31-1-24	4.0	28-1-2	20.2	79.6	149.7	
2	26.4	14.9	34.7	25-2-25	3.2	16-2-28	19.9	81.4	120.8	
3	24.9	13.8	33.6	36-3-16	2.2	16-3-24	18.6	81.8	112.4	
4	21.9	11.5	30.0	15-4-15	-0.3	39-4-29	10.1	83.3	105.6	
5	18.9	8.5	36.0	15-5-11	-4.6	32-5-26	13.3	84.8	121.8	
6	17.4	7.0	26.1	25-6-28	-6.4	29-6-18	11.6	84.1	145.1	
7	17.1	5.9	27.5	41-7-30	-8.0	15-7-22	10.9	82.2	85.9	
8	18.4	7.0	29.6	31-8-18	-4.6	36-8-10	12.2	81.3	152.4	
9	18.8	8.7	30.8	35-9-29	-3.0	15-9-30	13.3	83.9	142.5	
10	21.1	10.4	32.0	36-10-3	-0.9	52-10-5	15.3	82.1	147.7	
11	23.5	12.1	31.8	26-11-16	2.4	37-11-18	17.1	78.7	121.6	
12	25.5	13.8	34.8	40-12-7	3.8	15-12-24	19.1	79.2	126.0	
年	21.7	10.7	36.0	15-5-11	-8.0	15-7-22	15.6	81.9	1551.5	

(注) 測候所の位置南緯 27°49' 西経 50°20'

(2) カンボス・ノーボス測候所の気象統計(1923~1942)

月別	気 温 C°							平均 湿度	降 雨 量	
	平均 最高	平均 最低	絶 对 最 高		絶 对 最 低		平均 湿度		平均 降雨量	降雨 日数
			温度	年 月 日	温度	年 月 日				
1	27.9	15.5	34.6	37-1-7	9.7	35-1-8	20.1	181.1		
2	27.2	15.3	34.6	32-2-13	8.2	40-2-8	19.6	140.4		
3	26.5	14.6	34.6	36-3-17	1.9	36-3-4		144.5		
4	22.7	11.3	32.4	37-4-1	1.3	(34-4-29 33-4-26)		183.0		
5	20.1	9.3	28.6	30-5-7	0.1	(31-5-6 41-5-29)		194.2		
6	19.0	8.2	27.4	36-6-30	-1.2	41-6-25		236.5		
7	18.5	7.0	27.6	32-7-29	-4.3	34-7-10	12.0	124.7		
8	20.2	8.3	31.0	33-8-29	-5.2	36-8-9	13.2	193.4		
9	20.8	7.6	30.4	32-9-6	0.2	30-9-12	13.7	206.0		
10	23.3	10.3	32.1	36-10-3	1.1	(34-10-11 34-10-12)	15.6	228.0		
11	25.3	12.4	33.0	33-11-20	3.1	30-11-23	17.3	133.6		
12	27.4	14.4	37.2	31-12-20	5.1	42-12-1	19.3	157.0		
年	23.2	11.2	37.2	31-12-20	-6.3	34-7-10		2127.7		

(注) 測候所の位置 南緯 27°24' 西経 51°13'

⑦ クリチバーノス郡

同郡は、かつて相当の面積であつたが最近ボンチ・アルタ(612平方村)及びレボンレジス(902平方村)の両郡が分離独立したため現在は面積1,840平方村、人口27,000人(市街地10000)となつている。

この街は郡内の豊富なパラナ松資源の伐採により生れたところで、市内に製材工場の多いのが目立つ。

その他の工場としては、マッチ工場程度である。

教育機関としては、中学校、師範学校各2校、商業学校1校、医療機関としては総合病院（FREI・ROGERIO）があり事業団と特約し邦人に対し割引施設を行つている。

郡内の特殊なものとしては市街地から北北西35軒に連邦小麦植民地と隣接に「メルツ、ラーモス知事植民地」がある。そして前者には邦人4家族が入植している。なおこの植民地は創設以来10年以上経過するにもかかわらず基本的営農計画に欠陥があるか、あるいは入植者（伯国人）に問題があるか、相当なる連邦の指導援護にもかかわらず、現在のところ余り芳しい成果があがっていない状況である。

また郡内に州立の果樹養豚試験地（72ha）があり一時事業団にて委託を受け試験に従事（委託農家2戸）したが、予算の関係、技術者の関係等で所期の成果が得られないまま、1965年3月一杯をもって州政府に返還した。現在は州農務局で管理しているが何等の研究も行っていない。

#### ④ ラージエス郡

同郡は、面積7,353軒、人口106,000人で州都フロリヤノポリスに次ぐ同州オ2の大都会である。

また中山部地帯の中心都市として、また交通の要衝として将来の発展が期待される場所である。

市内の工場としては、製粉工場、製箱工場、乾肉工場、石鹼工場、セメント工場、その他多数の製材工場がある。

教育機関としては中学校3、神学校1、商業学校2、農学校1、高校2等が数えられる。

なお前記農学校にはラーモス移住地及び附近邦人移住者の子弟数名が入学

している。

⑨ その他の郡

サン・ジョアキン、リオ・ド・スール、カンボス・ノーボスの3郡であるが、このうちサンジョアキン郡はリンゴの適地として知られ、州立果樹試験場もあり、ビデイラ試験場とともにラーモス移住地を中心とした中山部地帯邦人移住者の温帯果樹栽培に重要な役割を果たしている。

以上5地域の邦人数次のとおり。(除 ラーモス移住地)

	職業	戦 前			戦 後			備 考
		世帯	単身	人 員	世帯	単身	人 員	
クリチバーノス (表4の ⑨)	農	3	—	24	5	1	22	△自作3借地6
	他	1	—	3				△そ菜農家5戸
ラージエス ( 〃 ㊸)	農	1	—	7	1	2	6	△借地3雇用1
	他	4	—	24	1	—	4	△そ菜農家3戸
サンジョアキン ( 〃 ㊵)	農	—	2	2	1	1	9	△分益 4
	他							
リオ・ド・スール ( 〃 ㊴)	農	—	1	1				△借地 1
	他							△そ菜農家1戸
カンボス・ノーボス ( 〃 ㊳)	農				1	1	5	△借地 2
	他							
合 計	農	4	3	34	8	3	42	
	他	5	—	27	1	—	4	

㊸ Aクリチバーノ 郡 には、連邦小麦植民地入植者を含む

Bラーモス移住地近郊入植者にてラーモス組合員となつている3世帯は、ラーモス移住地に含めるためこの表からは除外。

## カ、ラーモス移住地

### ㊦ 創設の経緯

A、1960年、日本から派遣された金戸農林技官は、サンタ・カタリーナ州及びリオ・グランデ・ド・ヌール州が温帯果樹栽培に適しているとの診断を下した。

当時、事業団（海協連）としては近郊「野菜」栽培農家の生産過剰とインフレによる行きづまりの打開策として奥地小都市への分散、雑作への移行等を奨励し、この受入れについて伯人耕主にPRしつつあった。

B、この時、当時のクリチバーノス郡長（ELIO・CRISTIS）より郡内にある連邦小麦植民地の保留地とその附近の民地を併せ買収し日本人を主として入植せしめる移住地を創設したいとの話が持ち出された。

C、事業団としては、この土地が開拓地として適しているか調査したところ、当地方が温帯果樹（ブドウ、桃、リンゴ、梨等）に最も適することが判明、更に雑作（小麦、大豆、とうもろこし、馬鈴薯等）養豚等も適することから、これ等を加味し将来温帯果樹中心の移住地とすべく結論した。

D、そして1963年6月28日付で当団（JAMIC）とサンタ・カタリーナ州農地改革院（IRASCO）と協定し、移住地創設に踏切った。

### ㊧ 入植計画

A、当初の予定としては、邦人50世帯（中10世帯は既移住邦人）を入植せしめることに着手したが、中途土地買収の支障、連邦主管官庁の機構改革等により思うように進展せず、結局現在46ロッテ（センターを除く）分を確保し、測量終結の34ロッテ（センターを含む）をINDAに登録した。なお邦人入植戸数については、伯国移民法の関係で総ロッテ数の $\frac{2}{3}$ にとどまるため、現在のロッテ数からみて34乃至35戸（内、現在からの邦人入植20世帯＝当初の10世帯を変更）になるも



のと思われる。

B、 ロツテの面積は可耕地面積を考へて最低20ヘクタール以上（最高30ヘクタール程度）とした。

また各ロツテに1戸づゝの木造住宅（約60平方米）建築用の資材が交付されることになつてゐる。

C、 分譲価格はロツテの面積にかゝらず、均一1,997,100クルゼイロス（3年据置き無利子10年均等年賦）である。

D、 地権交付は、入植時予約売買契約書が交付され、分譲代金完済後「本地権」が交付される。（分譲代金を繰上げて納入しても13年後でなければ本地権は交付されない。）

#### ⑦ 営農方針

当地方が伯国随一の温帯果樹適作地帯である関係上、リンゴ、梨、ブドウ、桃等の果樹類を中心作物とするが、入植当初は、同様適作物である小麦、フェジヨン、とうもろこし等の雑作を取入れ、また夏季冷涼多湿の高原性気候の利点を生かし、トマト、馬鈴薯、人蔘等の栽培を加味した経営を行う。

更に飼料の自給体制の確立とともに養豚を採入れ畜産業に移行する。

この間計画的に桃、梨、ブドウ、リンゴ等の植付を行うようにする。

連邦小麦植民地の気象統計（1959～1962）

月 別	気 温 °C							降 霜 日 数	平均 降雨 雨量 日 数	
	平均 最高	平均 最低	絶対最高		絶対最低		平均 温度			
			温度	年月日	温度	年月日				
1	28.8	14.0	34.6	59- 1-16	3.9	62- 1- 4	20.0	0	131.8	12
2	27.8	14.0	33.8	61- 2- 1	2.8	62- 2-25	19.6	0	145.8	13
3	26.9	12.0	33.0	59- 3- 9	0.6	59- 3-19	18.8	0	115.2	10
4	24.5	9.1	32.4	59- 4-13	-2.6	62- 4-28	15.8	3	107.6	10
5	20.7	4.6	27.4	59- 5-17	-7.2	60- 5-23	11.8	6	111.8	8
6	19.7	2.6	27.1	61- 6- 4	-8.8	59- 6-11	10.4	10	58.7	7
7	20.3	3.2	27.0	61- 7-21	-8.4	62- 7- 1	11.1	6	58.1	7
8	22.0	5.1	30.9	61- 8-28	-6.5	62- 8-25	12.7	5	83.3	9
9	23.7	9.6	32.3	59- 9- 9	-6.0	62- 9- 2	15.5	2	192.7	12
10	24.5	10.3	32.6	59-10-26	-1.2	59-10-30	16.3	0	143.9	11
11	26.2	10.7	34.0	62-11-28	-0.4	60-11-16	17.2	0	109.8	12
12	28.5	12.6	35.4	62-12-31	1.5	59-12-12	19.2	0	117.4	9
年	24.5	9.1	35.4	62-12-31	-8.8	59- 6-11	15.7	32	1,346.3	120

㊦ 本表は隣接小麦植民地の気象表であるが、ラーモス移住地もほぼ同様である。

㊧ 現在までの入植状況

現地からの邦人入植は、オ一次として1964年4月から9月にかけて8戸および1965年5月2戸、オ二次として1965年6月から12月にかけて5戸、および1966年5月1戸の計16戸が入植した。（セルソ・ラーモス知事植民地略図参照）その他、附近に土地を購入し、ラーモス移住

地入植者と歩調をあわせて営農に従事している世帯3（内、1は単身）、すでに附近に土地を購入し近く入植する世帯1がある。

これ等入植者の生産物の販売、諸物資の購買を有利にするため、「ラーモス農業協同組合（任意）」が組織され活潑に活動している。

事業団としては、この組合の事業が円滑に推進されるより次の車輛、機械施設を貸与している。

1. トラクター 1台（フォードBR 8型）
2. トラック 〃（フォードF600A）
3. 動力噴霧器 〃（初田式 モートルなし）
4. 倉庫兼共同販売所1棟（184平方米）

ラーモス農協組合員（入植者）名簿（1966、5、1）

氏名	家族 人員	ロッテ 番号	入植時期	出身県	備考
杉山 雪吾	5	1	1964-4	山口	理事
小川 渡	7	2	〃	長崎	
小川 和己	5	4	〃	〃	理事（組合長）
桑原 二郎	10	6	〃	〃	〔含今里ミサー一家3名〕
江口 藤繁	6	3	1964-9	〃	監事
葛山 公治	4	5	1964-4	北海道	監事
葛山 隆男	9	7	〃	〃	理事
久保田 清継	9	13	〃	熊本	監事 〔含久保田勝義一家3名〕
鳥羽 力次	6	9	1965-5	北海道	理事
伊藤 大一	8	11	1965-5	〃	
日浦 各一	8	14	〃-6	〃	
杉山 繁	3	17	〃-12	山口	
小橋川 秀雄	13	26	〃-6	沖縄	理事
門脇 謙	4	31	〃-8	宮城	
篠木 福松	5	32	〃-8	兵庫	
本多 文男	3	未定	1966-5	茨城	事業団臨時駐在員
芝田 可行	3	附近	1965-8	北海道	
角 忠三郎	4	近入	〃	福岡	
赤平 愛博	1	植	〃	青森	
葛山 利重	2	なし	1966-5	北海道	組合書記

㊦ 以上の他、伯国人入植者2世帯および近日附近に入植予定の邦人一世帯あり。

「参考」 入植者の営農例

◎ K氏 (家族数11名 稼働力6.1)

経歴 1962- リオ・グランデ・ト・スール州分益農(そ菜)

1964-4 ラーモス移住地に現地入植 (携行資金500コントス)

資産 2,640コントス

		評価額		
耕耘機	1台	1,200コントス	収納舎(40㎡)	300コントス
動力噴霧器	◇	800	畜舎(10㎡)	50
その他の農具		90	豚 1頭	100
			仔牛	100

○ 特別資産

土地 27ha 住宅 70㎡ 果樹 300本

○ 負債

伯銀融資 490コントス 事業団融資 750コントス

経営収支(1965-1~1965-12)

粗収入① 3,897コントス

トマト	0.2ha	2,400コントス
穀作		500
馬鈴薯		51.6
養豚飼料仕向とうもろこし		200
自家消費生産物		263

支出

営農費② 2,824コントス

伐開費 65コントス 施設器具償却 540コントス

肥料	415	コントス	施設	100	コントス
農薬	250	ク	家畜購入	140	ク
種苗	40	ク	出荷	850	ク
資材	150	ク	販売手数料	390	ク
飼料	20	ク	その他	64	ク

家計費① 1,115 コントス

主食費	445	コントス	副食調味料	346	コントス
医療	25	ク	交通通信	35	ク
嗜好品	17	ク	住居	42	ク
被服	105	ク	交際娯楽	29	ク
教育	56	ク	その他	15	ク

差引余剰

$$\text{④} - (\text{①} + \text{②}) = -42 \text{ コントス}$$

④ 現在開拓初期で投資が多いため赤字となる。

営農資金は融資によりまかえている段階である。

◎ S氏 (家族数6名 稼働力 4.8)

経歴 1961-5 リオ・グランデ・ド・スール分益農(そ菜)

1964-4 ラーモス移住地に現地入植(携行資金500コントス)

資産 5,010 コントス

		評価額		
ディーゼルモーター	1台	700	中小農具	200
動力噴霧器	ク	500	収納舎(40.5㎡)	315
未処分生産物		1,750	畜舎(20㎡)	100
肥料農薬ストック		520	馬 1頭	50
現金		245	豚 14頭	630

○特別資産

土地	23.5 ha	住宅	70㎡
果樹	300本		

- 90 -

○負債

伯銀融資 490 コントス 事業団融資 750 コントス

経営収支 (1965-1~1965-12)

粗収入④ 2,892 コントス

トマト 0.2 h a 2,300 コントス

穀作 450 ♪

自家消費生産物 142 ♪

支出

営農費① 2,165 コントス

肥料費 392 コントス 施設機具償却 25 コントス

農薬 173 ♪ 機械器具購入 7 ♪

種苗 30 ♪ 家畜購入 100 ♪

資材 244 ♪ 出荷 750 ♪

飼料 10 ♪ 販売手数料 345 ♪

機具賃借 17 ♪ その他 72 ♪

家計費② 992 コントス

主食 446 コントス 交通通信 32 コントス

副食調味料 322 ♪ 住居 42 ♪

嗜好品 15 ♪ 交際娯楽 32 ♪

被服 65 ♪ その他 13 ♪

医療 25 ♪

差引余剰

$$\text{④} - (\text{①} + \text{②}) = -265 \text{ コントス}$$

④ 現在開拓初期で投資が多い。

① 事業団 駐在員事務所

A. 移住地センターに事業団 駐在員事務所を置き、車輦(ボート)1台を配し、

㊦ 事業団駐在員事務所

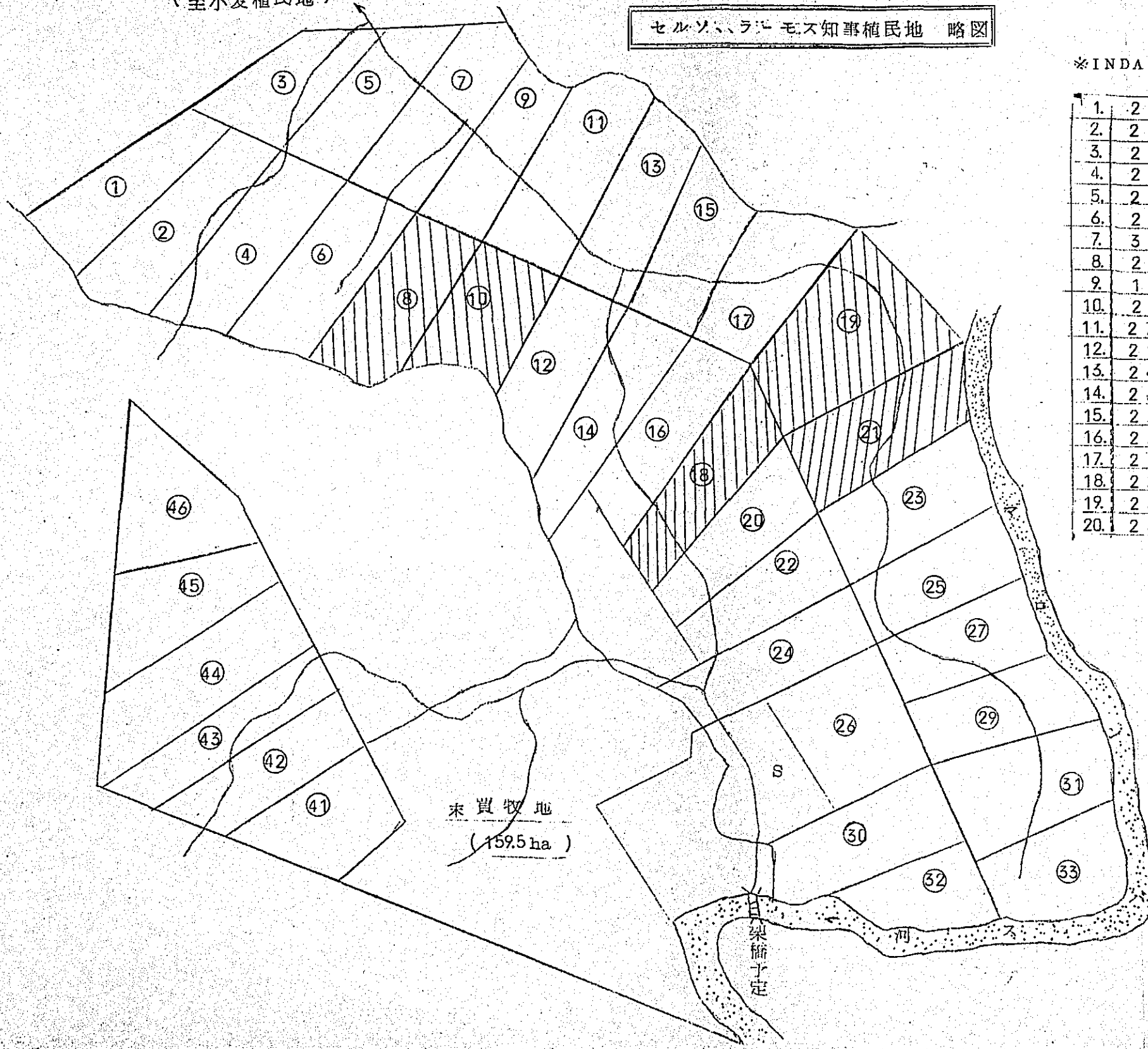
A、移住地センターに事業団駐在員事務所を開き、車輻（ジープ）1台を配し、駐在員1名（臨時）にて同移住地及び同州中山部地域邦人移住者の定着指導（主として営農指導）を行つている。

B、移住地内に事業団で建築した施設としては、前記ラーモス農協に貸与の倉庫兼販売所の他、次のものがある。

1. 小 学 校                    1 棟（煉瓦建）
2. 診療所兼事務所            1 軒（ 木 造 ）
3. 教員住宅                    1 軒（ 木 造 ）
4. 車                    庫                    1 軒（木 造）
5. 電気、水道施設

(至小麦植民地)

セルソ、ラジモス知事植民地 略図



※INDA 登録済 各ロット面積 ( ha )

1.	23.41	21.	26.89
2.	27.80	22.	21.01
3.	21.17	23.	23.40
4.	25.50	24.	23.87
5.	22.90	25.	25.79
6.	27.34	26.	31.14
7.	31.08	27.	22.17
8.	26.71	28.	27.20
9.	18.99	29.	23.50
10.	21.57	30.	20.52
11.	27.78	31.	24.32
12.	21.22	32.	21.09
13.	24.30	33.	25.24
14.	23.05		
15.	22.42	SEDE	22.50
16.	22.79		
17.	21.41		
18.	22.82		
19.	23.59		
20.	23.31		

※取得済未登録 各ロット面積 ( ha )

41.	24.23
42.	23.18
43.	25.54
44.	29.94
45.	26.74
46.	27.74

(注) 斜線ロットは佃人用

◎は移住地共有地 (センター)

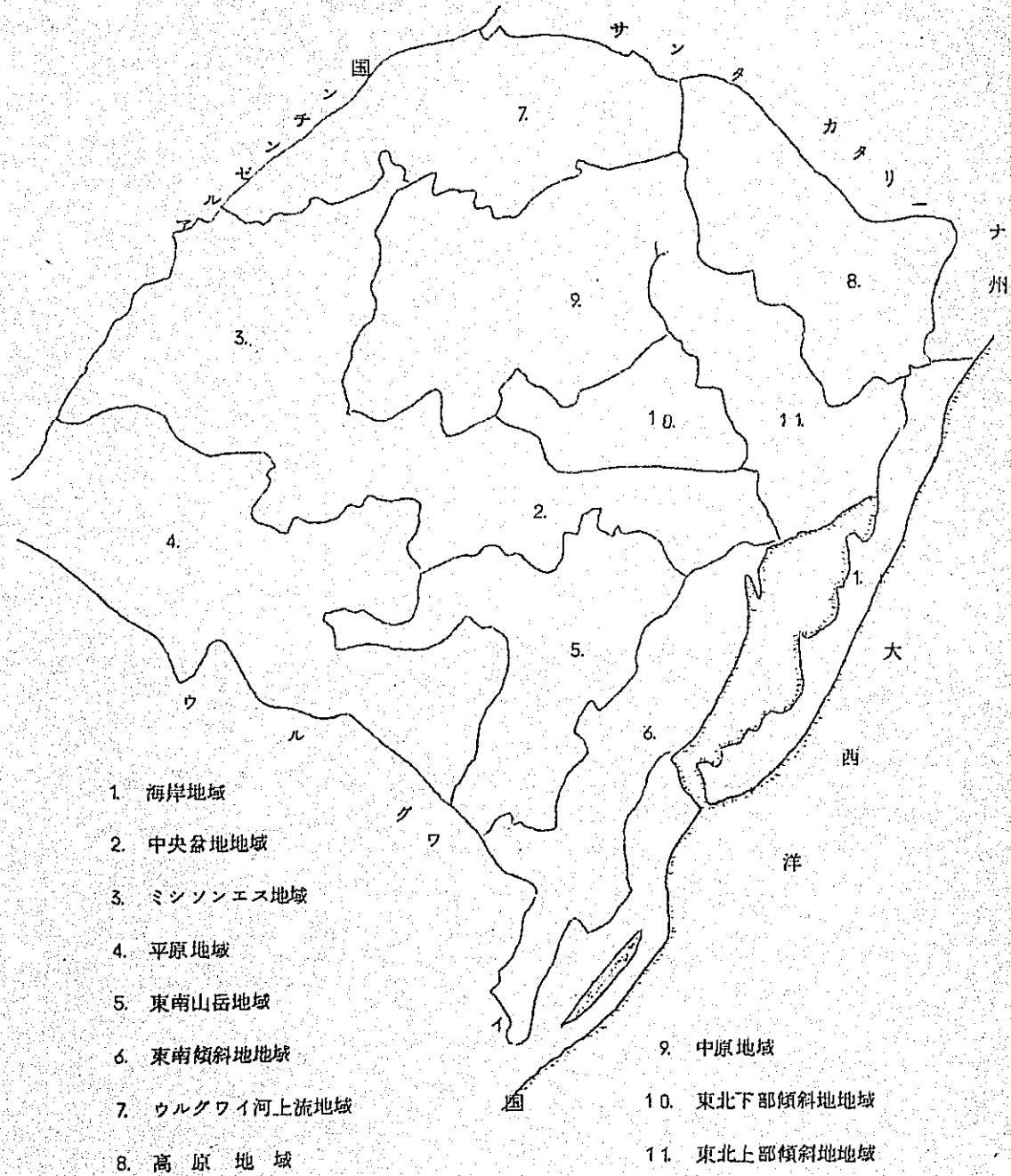




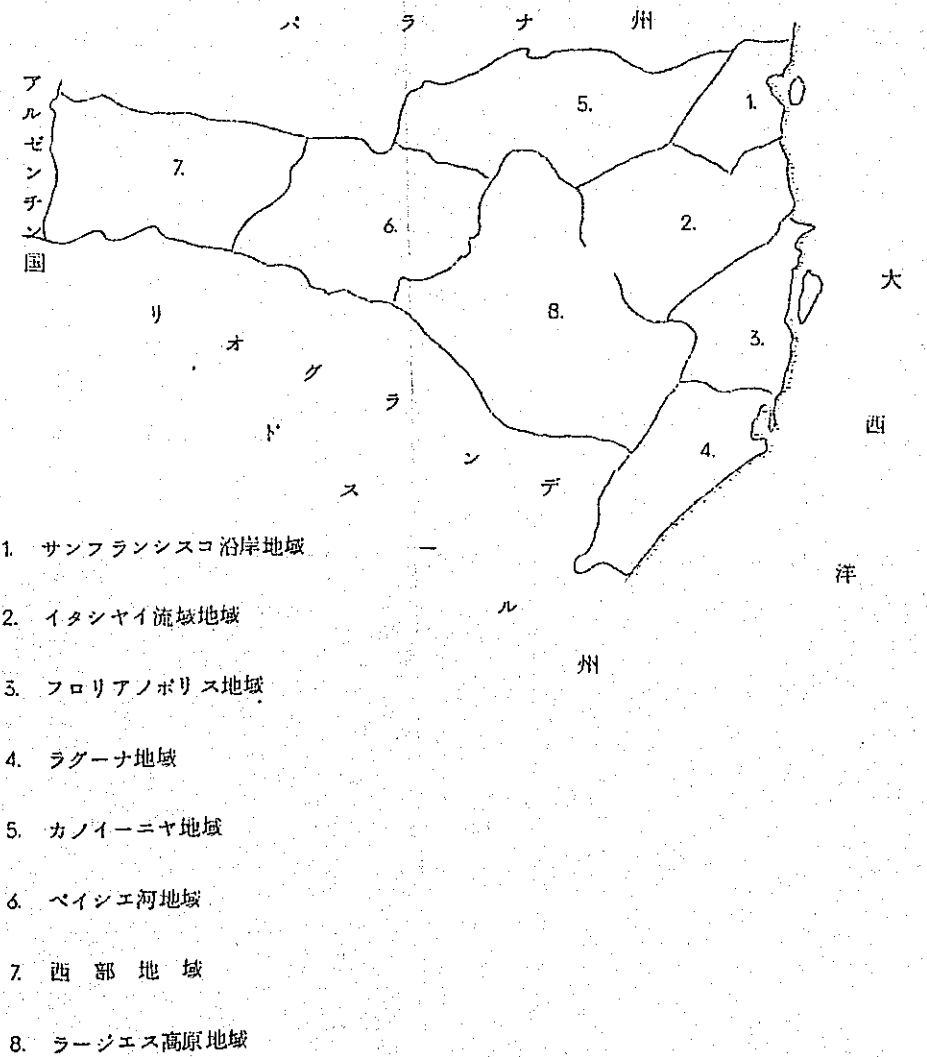


区 分 地区名	職業別	戦前移住者(含独立二世)			戦後移住者			移住者合計(含独立二世)			直 来 者 数	営農形態(戸数)								経営の支柱 (農家戸数)		就学児童			国 際 結 婚	未婚青年 (20才以上)		
		家 族		単 身	家 族		単 身	家 族		単 身		自 作 旧	自 作 新	借 地		分 益		雇 用 旧	雇 用 新	ソ 菜	そ の 他	小 学	中 学	高 校		男	女	
		世帯数	人 員		世帯数	人 員		世帯数	人 員					旧	新	旧	新											旧
⑤ SÃO JOAQUIM サン・ジョアキン	農			2	1	8(4)	1	1	8(4)	3	2					2	2					4	1				1	
	他																											
⑥ SÃO LUDGERO サン・ルジエロ	農						1			1										1							1	
	他													1														1
⑦ TIJUCA チジュカ	農				2	7(1)		2	7(1)													2					1	1
	他											2										2					1	1
⑧ TUBARÃO ツバロン	農	1	6(5)	1			3	1	6(5)	4	1			2	3					5		1			1	3	1	
	他	1	9(7)					1	9(7)																1	3	1	
⑨ TRES BARRAS トツウレス・パラス	農	3	13(12)		1	5(3)	2	4	18(15)	2												6				1	5	
	他											3		3								2			1	5		
サンタ・カタリーナ 州 合 計	農	22	134(95)	5	49	221(71)	19	71	355(166)	24																		
	他	23	140(119)	3(1)	8	28(13)	2	31	168(132)	5(1)																		
	計	45	274(214)	8(1)	57	249(84)	21	102	523(298)	29(1)	27	11	23	12	32	3	10	1	3	30	65	43(24)	26(17)	2(1)	15(13)	63(21)	11(6)	

1) グランデ・ド・スール州  
地域区分図



サンタ・カクリーナ州  
地域区分図



## 附 録

### 1. リオ・グランデ・ド・スール州の概況

- (1) リオ・グランデ・ド・スール州政府の機構および予算書  
(1966年度)
- (2) 邦人在住関係郡における主要農作物作付面積(1963年)
- (3) 邦人在住関係郡における家畜飼養頭数(1964年度)
- (4) 邦人在住関係郡における果樹栽培面積(1960年度)
- (5) 最近5ヶ年間の農業生産状況(1961~1965年)
- (6) 最近4ヶ年間の家畜飼育頭数(1961~1964年)
- (7) 年次別主要畜産物生産状況(1961~1964年)
- (8) 植物性油脂の年次別生産状況(1946~1960年)
- (9) 邦人のトマト栽培概数(1965年)
- (10) 最近2ヶ年の輸出額比較(1964, 1965年)

### 2. サンタ・カタリーナ州の概況

- (1) サンタ・カタリーナ州政府の機構および予算書  
(1966年)
- (2) 主要農産物の年次別作付面積と生産量(1962~1964年)
- (3) 土地所有形態の推移(1950~1960年)
- (4) 主要農産物生産状況(1965年)
- (5) 主要郡の家畜飼養頭数(1964年)
- (6) 地域別果物生産状況(1964年)

府 伯国各州別養鶏業事情の推移(1961~1964年)

## 1. リオ・グランデ・ド・スール州

リオ・グランデ・ド・スール州は、234の郡からなり、面積282,184平方キロ、人口6,340,000人である。

次に参考までに種々の関係統計資料をかゝけておく。

### (1) リオ・グランデ・ド・スール州政府の機構および予算 (1966年度)

歳入	431,973,684,274	クルゼイロス
歳出	431,973,684,274	クルゼイロス

#### ア. 一般会計の部（各局別支出予算総額）

##### (ア) 行政府

州政府	7,432,194,924
内務—法務局	7,553,739,050
財務局	201,998,650,827
工務局	15,935,787,379
農務局	11,521,020,000
教育文化局	105,502,673,600
保安局	39,000,000,000
行政局	1,650,874,372
衛生局	17,705,521,000
経済局	2,501,366,716
運輸局	1,237,966,000

住宅労働局	5,548,000,000
通信、動力局	64,000,000
(イ) 立法府	8,611,830,972
(ウ) 司法府	4,467,001,754
(ニ) 会計検査院	1,243,001,680

イ. 特別会計の部

(ア) 基礎公団

倉庫、サイロ委員会	4,861,892,000
独立道路局	80,938,676,000
港、川、運河委員会	17,860,406,000
技術院	1,001,056,400

(イ) 経済公団 (州政府の補助金なし)

リオ・グランデ・ド・スール州、米穀院	73,696,160,548
同肉院	8,946,932,000
独立鉱炭局	2,558,020,000
ミルク配給局	15,391,715,000
州ロテリア局	3,642,000,000
州貯蓄銀行	4,874,597,280
州営証券取引所	130,660,000

## サンタ、カタリーナ州

サンタ、カタリーナ州 194の郡からなり  
面積95,985平方軒、人口2,579,000である。  
次に参考までに種々の関係統計資料をか、けておく。

### (1) サンタ、カタリーナ州政府の概観および予算(1966年度)

歳入	90,000,000,000	クルゼイロス
歳出	90,000,000,000	クルゼイロス

### ア、一般会計の部(各局別支出予算総額)

#### (ア) 行政府

州政府	391,200,000
農務局	2,967,000,000
教育文化局	1,651,064,950
財務局	24,151,742,000
法務、内務局	830,000,000
衛生局	4,496,000,000
住宅、労働局	75,000,000
保安局	903,000,000
工學局	10,779,143,000
企画局	17,350,000,000
四部局	2,003,000,000
無名局	66,000,000



(イ) 立法府	1,519,156,000
(ウ) 司法府	2,104,792,100
(エ) 会計検査院	293,317,400
(オ) 独立局	
電源委員会	972,000,000
公務の指導および合理化	76,000,000
統計局	109,000,000
地理、地図局	56,000,000
公共省	436,000,000
州警隊	3,911,000,000

イ. 特別会計の部

道路局	8,600,000,000
衛生土木	745,000,000
衛生改善工事	385,000,000
州開発銀行	2,500,000,000
州農地改革院 (IRASC)	171,000,000
ミルク加工場	166,000,000
猟漁局	75,000,000
南部地方銀行	648,850,000
FUNDESC	500,000,000

リオ・グランデ・ド・スール州 主要農産物作付面積 (1963年) (ANUARIO AGROPECUARIO 1965より)  
 (邦人在住関係郡)

(単位 ha)

郡名	米	トウモロコシ	小麦	大豆	フェイジョン	マンジオカ	葉煙草	馬鈴薯	ぶどう	たまねぎ
ALEGRETE	10,440	1,900	3,400	-	20	70	-	30	2	12
RIO GRANDE	17,400	1,400	50	200	70	-	-	80	1	10
BAGÉ	70	8,630	6,000	100	430	-	-	64	113	30
BARRA DO RIBEIRO	4,350	97	-	18	47	114	-	18	24	7
BENTO GONÇALVES	40	6,000	3,000	70	250	200	25	150	10,000	60
CACHOEIRA DO SUL	23,490	2,030	49,000	200	320	100	630	490	22	40
CAMAQUÃ	20,010	20,000	1,800	150	2,000	-	120	1,200	18	40
CANÓAS	1,218	65	-	-	15	152	-	20	2	3
CATUÍPE	39	3,695	3,000	6,590	1,430	630	-	30	63	4
CAXIAS DO SUL	250	11,120	9,000	-	580	-	-	140	8,235	250
CRUZ ALTA	600	7,600	38,000	12,000	365	2,120	-	100	30	-
ERECHIM	3,000	65,700	16,000	7,200	5,900	9,900	290	2,970	1,678	22
ESTANCIA VELHA	30	990	-	-	352	100	-	230	-	22
ESTEIO	174	116	-	-	-	59	-	-	2	-
GIRUA	2,200	14,000	10,000	14,000	5,000	6,000	60	630	37	30
GRAVATAÍ	870	600	-	-	25	5,800	50	100	19	15
GUAÍBA	6,960	985	-	60	485	752	58	173	36	40
IJUÍ	480	50,500	11,000	9,500	1,900	12,000	25	300	283	30
ITAQUÍ	8,178	2,450	900	-	80	70	-	9	5	-
JAGUARÃO	6,960	1,810	2,100	30	35	-	-	20	3	15
LAGÔA VERMELHA	1,050	14,150	7,500	850	220	313	-	100	91	13
MONTEGRO	87	20,000	900	1,500	3,100	7,650	150	2,000	268	320
NOVO HAMBURGO	80	455	-	-	180	750	-	85	4	25
OSORIO	10,440	1,100	650	-	4,000	3,100	200	115	38	450
PASSO FUNDO	8,700	22,000	9,500	18,500	800	1,470	35	47	229	3
PEDRO OSORI	1,044	5,000	150	-	600	-	60	2,700	102	-

郡名	米	とうもろこし	小麦	大豆	フェイジョン	マンジオカ	葉煙草	馬鈴薯	ぶどう	たまねぎ
PELOTAS	8,178	4,800	600	—	3,000	—	—	3,000	216	600
PÔRTO ALEGRE	522	60	—	—	50	470	—	40	205	15
RIO GRANDE	8,700	700	4	35	—	—	—	59	470	1,790
RIO PARDO	14,616	3,600	600	1,800	600	1,100	1,600	76	11	24
SANTA GRAZ DO SUL	435	9,390	2,420	670	1,600	485	10,820	260	34	20
SANTA MARIA	2,958	4,000	2,000	—	670	960	—	680	137	100
SANTA ROSA	350	12,000	1,500	12,000	1,600	6,530	600	90	80	40
SANTA VITÓRIA DO PALMAR	20,880	3,000	—	—	—	—	—	400	—	—
SANTANA DO LIVRAMENTO	3,306	8,200	120	50	470	93	—	165	—	45
SANTO ANGELO	133	8,965	6,600	15,710	4,570	1,320	—	40	157	10
SANTO ANTONIO DA PATRULHA	6,090	6,600	200	45	2,400	2,310	250	750	85	30
SÃO BORJA	9,744	1,120	15,000	290	190	90	—	50	9	10
SÃO GABRIEL	6,612	1,450	10,000	200	300	66	50	25	—	75
SÃO LEOPOLDO	5	65	—	—	69	107	—	31	—	3
SÃO LOURENÇO DO SUL	8,700	13,000	1,500	500	1,850	75	—	3,800	12	120
SÃO SEBASTIÃO DO CAÍ	435	4,000	400	168	964	2,348	—	2,610	29	5
SAPUCAIA DO SUL	2	27	—	—	41	60	—	13	—	3
TAQUARA	104	2,400	120	60	2,750	2,820	50	630	22	100
TAQUARÍ	1,218	7,000	—	1,100	500	6,050	15	48	31	15
TÔRRES	331	1,500	30	—	1,500	1,000	1,400	50	—	15
URUOUIANA	10,962	1,050	1,000	—	55	10	—	85	2	20
VACARIA	90	9,820	10,600	80	1,200	75	—	252	346	—
VENANCIO AIRES	209	17,375	344	1,520	1,260	860	4,900	705	107	72
VIAMÃO	8,700	465	—	—	35	1,448	—	—	2	3
全州合計	342,037	1,395,840	595,051	307,555	184,831	21,08	81,619	54,263	52,875	

※ リオ・グランデ・ド・スール州 邦人在住関係郡の家畜飼養頭数 (1964年度)

(POPULACAO E PRODUCAO AGRO-PECUARIA 1964)

郡名	牛	馬	羊	豚	鶏 (Kg)	郡名	牛	馬	羊	豚	鶏 (Kg)
NOVO HAMBURGO	6,000	1,100	1,700	4,000	72,000	PELOTAS	92,000	25,500	68,400	92,000	850,000
ALEGRETE	442,500	33,600	864,000	9,000	263,000	PÔRTO ALEGRE	17,000	2,900	1,200	17,000	200,000
RIO GRANDE	100,000	8,500	306,000	4,500	395,000	RIO GRANDE	116,000	17,500	143,000	30,000	281,000
BAGÉ	371,000	27,100	888,000	11,200	477,900	RIO PARDO	152,000	11,500	75,000	24,800	110,000
BARRA DO RIBEIRO	35,700	3,000	29,000	12,000	90,000	SANTA CRUZ DO SUL	43,000	8,600	5,100	89,100	246,500
BENTO GONCALVES	12,400	1,600	4,200	37,000	200,000	SANTA MARIA	139,000	10,000	14,500	25,000	380,000
CACHOEIRA DO SUL	193,000	24,500	80,000	50,200	15,000	SANTA ROSA	26,100	6,200	200	12,670	150,000
CAMAQUÃ	96,000	14,500	40,000	11,000	600,000	SANTA VITÓRIA DO PALMAR	146,000	14,000	689,000	10,800	70,000
CANÔAS	9,800	1,200	900	6,600	16,000	SANTANA DO LIVRAMENTO	387,000	22,900	901,000	10,500	310,000
CATUÍPE	33,300	2,600	1,100	49,600	160,400	SANTO ANGELO	114,600	10,200	17,600	74,400	307,300
CAXIAS DO SUL	35,000	5,000	4,000	60,000	600,000	SANTO ANTONIO DA PATRULHA	63,000	6,100	4,400	19,800	130,000
CRUZ ALTA	135,000	7,200	25,000	33,000	280,000	SÃO BORJA	316,800	24,300	234,000	1,600	85,200
ESTANCIA VELHA	6,900	1,200	300	6,200	42,000	SÃO GABRIEL	421,000	24,800	487,600	7,000	105,000
ESTEIO	1,000	-	-	400	2,500	SÃO LEOPOLDO	3,300	2,100	100	2,100	18,000
GIRUÁ	26,500	5,000	500	32,000	200,000	SÃO LOURENCO DO SUL	45,000	26,000	70,000	48,000	418,000
GRAVATAÍ	52,000	8,000	15,000	48,000	320,000	SÃO SEBASTIAO DO CAÍ	18,500	9,000	7,200	9,300	510,000
GUAÍBA	45,800	7,100	42,000	17,500	140,000	SAPUCAIA DO SUL	300	100	-	100	1,600
IJUÍ	58,100	19,300	3,900	175,800	771,000	TAQUARA	33,000	2,100	1,300	14,500	620,000
ITAQUÍ	322,000	36,000	404,000	8,000	150,000	TAQUARÍ	26,500	3,000	3,100	19,000	340,000
JAGUARÃO	101,000	6,500	592,000	4,800	66,000	TÔRRES	19,000	3,800	2,000	13,000	15,000
LAGÔA VERMELHA	81,200	14,500	16,000	131,500	350,000	URUGUAIANA	343,300	23,000	1120,100	9,200	48,000
MONTE NEGRO	37,500	5,600	2,600	56,600	600,000	VACARIA	125,000	10,300	23,200	31,900	160,000
OSORIO	61,000	18,500	92,300	53,000	200,000	VENANCIO AIRES	33,300	7,000	6,700	68,000	607,500
PASSO FUNDO	58,000	8,500	8,500	80,000	593,000	VIAMÃO	54,800	4,000	15,200	3,600	16,000
PEDRO OSORIO	45,700	6,300	79,600	25,100	230,000	全 州 合 計					
ERECHIM	36,000	8,600	5,000	121,000	375,000						

※ リオ、グランデ、ド、スール州 邦人在住関係部の果樹栽培面積 (1960年度)

(ANUARIO DA PRODUCAO, AGROPECUARIA, 1961年より)

郡名	アバカテ	パイナップル	オリーブ	バナナ	ミカン (ベルガモツク)	柿	イチジク	オレンジ	レモン	リンゴ	マルメロ	梨	桃	合計
ALEGRETE	—	—	—	2	18	1	11	127	3	11	—	50	44	267
ARROIO GRANDE	—	—	—	—	22	—	—	73	2	2	1	3	4	107
BAGÉ	—	—	3	—	11	4	4	158	2	15	10	7	34	248
BARRA DO RIBEIRO	—	—	—	1	2	1	—	8	—	—	—	1	1	14
BENTO GONCALVES	—	—	1	10	56	11	52	400	4	11	50	6	44	645
CACHOEIRA DO SUL	90	—	—	15	33	17	—	233	33	—	5	65	60	551
CAMAQUÁ	—	—	—	—	15	—	2	53	2	6	3	10	11	102
CANÓAS	—	—	—	1	3	1	—	40	—	1	—	13	3	62
CATUIPE	(SANTO ANGELO に含まれる)													
CAXIAS DO SUL	—	140	25	—	—	17	54	69	—	38	75	67	185	670
CRUZ ALTA	—	—	—	2	—	2	3	27	1	3	1	4	74	122
ERECHIM	4	—	—	43	49	12	8	343	4	9	74	17	386	949
ESTÂNCIA VELHA	—	—	—	3	4	30	1	47	2	4	—	10	7	108
ESTEIO	—	—	—	1	1	2	1	12	1	1	—	10	—	29
GIRUA	3	—	—	1	14	5	—	70	10	11	—	16	14	144
GRAVATAÍ	—	—	—	19	37	6	—	267	8	15	—	80	33	472
GUAÍBA	—	—	—	9	6	2	—	117	11	6	—	32	95	278
IJUÍ	20	—	15	5	22	24	8	237	12	40	6	35	25	470
ITAQUÍ	—	—	—	5	41	1	—	255	—	—	—	—	17	319
JAGUARÃO	—	—	1	—	20	—	—	85	2	—	10	6	20	144
LAGOA VERMELHA	—	—	—	—	4	2	11	6	1	13	28	12	111	188
MONTEMEGRO	90	—	—	48	104	137	31	2133	130	15	—	160	46	2894
NOVO HAMBURGO	—	—	—	13	16	6	4	60	6	4	2	21	7	139
OSORIO	—	2800	—	61	—	5	—	266	6	3	—	45	2	3208
PASSO FUNDO	—	—	—	—	29	8	13	58	6	12	6	13	10	155
PED OSORIO	—	—	—	—	19	—	2	57	4	—	1	2	67	152

郡名	アバカテ	パイナップル	オリーブ	バナナ	ミカン (ベルガモツタ)	柿	イチヂク	オレンジ	レモン	リンゴ	マルメロ	梨	桃	合計
PELOTAS	—	—	25	—	50	6	7	280	16	28	20	22	437	891
PÓRTO ALEGRE	—	—	—	10	8	10	—	27	2	4	—	79	39	179
RIO GRANDE	—	—	80	—	30	—	—	112	14	16	11	55	252	571
RIO PARDO	—	—	—	21	27	2	—	63	3	3	1	15	23	158
SANTA CRUZ DO SUL	—	—	—	77	46	22	18	60	—	8	1	60	82	374
SANTA MARIA	—	—	—	—	—	—	—	128	—	—	—	—	—	128
SANTA ROSA	—	—	—	52	5	3	1	90	26	15	2	1	17	224
SANTA VITORIA DO PALMAR	—	—	—	—	—	—	—	11	—	—	—	—	—	11
SANTANA DO LIVRAMENTO	—	—	—	—	13	—	2	105	2	—	7	—	15	144
SANTO ANGELO	3	2	—	11	10	12	8	61	1	1	—	13	11	133
SANTO ANTONIO DA PATRULHA	1	4	—	129	5	5	12	267	5	9	—	6	10	458
SÃO BORJA	—	—	—	17	42	2	8	401	7	5	3	5	38	528
SÃO GABRIEL	—	—	—	4	95	2	—	387	—	9	1	51	159	708
SÃO LEOPOLDO	—	—	—	—	4	26	—	50	—	—	—	9	—	90
SAO LOURENCO DO SUL	—	—	5	13	55	8	18	300	15	7	15	18	183	637
SÃO SEBASTIÃO DO CAÍ	—	—	—	59	52	54	31	320	12	12	12	55	65	672
SAPUCAIA DO SUL	(SÃO LEOPOLDO に含まれる)													
TAQUARA	3	—	1	16	66	22	110	14	—	—	14	30	4	280
TAQUARÍ	—	—	—	32	29	4	3	200	7	8	—	100	19	402
TORRES	25	112	—	1,129	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,266
URUGUAIANA	—	—	249	—	14	1	1	87	2	2	—	2	3	361
VACARIA	—	—	—	—	22	14	15	61	3	19	27	22	57	240
VENANCIO AIRES	1	3	—	7	10	3	1	203	1	1	1	7	2	240
VIAMÃO	—	—	—	18	2	1	3	153	8	—	—	42	19	246
その他														
全州合計	344	3,061	474	3,366	2,866	1,088	1,079	17,591	764		1,153	2,272	5,238	40,497

※ リオ・グランデ・ド・スール州 最近5ヶ年間の農業生産状況 (ANUÁRIO AGRO-PECUÁRIA, 1963, 1964, 1965より)

年 種目	1961		1962		1963		1964		1965		単位収量 TON/ha
	ha	TON	ha	TON	ha	TON	ha	TON	ha	TON	
米(粳)	366,541	933,305	342,444	888,308	342,037	834,626	379,764	888,123	450,496	1,188,534	2.3~2.6
とうもろこし	1,251,457	1,703,118	1,316,785	1,808,229	1,385,840	1,939,532	1,415,363	1,743,921	1,570,367	2,206,340	1.2 ~ 1.4
小麦	858,522	407,121	559,683	513,691	595,051	274,611	495,054	435,561			0.5 ~ 0.9
マンジョカ	190,111	2,211,479	208,	2,383,976	226,008	2,534,769	229,666	2,682,472		2,505,282	11.0 ~12.3
大豆	221,170	248,430	283,665	239,060	307,555	275,362	320,396	267,947	384,643	459,040	0.8 ~ 1.1
馬鈴薯	60,269	269,623	57,892	282,215	54,263	233,182	53,870	278,213	55,059	286,338	4.3 ~ 5.2
フエイジョン	172,203	144,605	185,321	164,049	184,831	167,635	210,148	168,869	244,717	234,080	0.8 ~ 0.9
葉煙草	69,157	59,362	71,123	63,886	81,619	81,436	82,818	76,178	88,073	91,361	0.9 ~ 1.0
ぶどう	49,038	285,307	51,757	263,720	52,875	327,345	56,919	228,654	60,143	356,233	4.0 ~ 6.2
たまねぎ	13,687	82,071	14,459	106,231	12,497	82,063	14,958	107,378	15,436	114,958	6.5 ~ 7.3
甘藷	29,703	266,048	31,072	292,891	32,695	299,083	32,940	298,632	33,008	293,008	9.0 ~ 9.4
亜麻	46,747	28,603	55,033	40,248	53,034	19,299	65,222	51,990	64,451	41,612	0.4 ~ 0.8
にんにく	1,858	6,839	1,749	5,277	1,915	5,478	1,681	5,360	1,968	6,021	2.9 ~ 3.7
アムアム	20,422	124,985	20,261	129,145	17,341	122,098	17,054	120,361	18,174	126,559	6.1 ~ 7.1
さとうきび	50,050	964,083	48,570	988,124	48,825	989,573	50,236	1,014,430	67,822	1,540,076	19.3 ~20.3
えんばく	24,654	17,468	23,580	18,321	23,694	14,629	21,935	16,628	28,598	23,972	0.6 ~ 0.8
大麦	27,221	20,172	23,738	23,379	25,073	16,585	22,965	22,149	29,741	24,067	0.7 ~ 1.0
その他											
合計	3,467,969	97,143	3,312,776	8,230,725	3,463,117	8,239,146	3,486,424	36,409			

※ リオ・グランデ・ド・スールの家畜飼育頭数（最近5ケ年間）

年	牛	馬	羊	豚
1961	9,691,900	1,170,800	10,729,500	5,548,400
1962	9,706,700	1,194,300	11,120,800	5,903,800
1963	10,402,000	1,249,600	11,523,900	6,374,200
1964	10,711,100	1,265,800	11,911,160	6,944,800
1965				

（注・ ANUÁRIO AGRO-PECUÁRIO より）

※ リオ・グランデ・ド・スール州の主要畜産物生産状況（年次別）

（単位 KG）

区分 年	牛			鶏
	生肉	冷凍肉	牛乳	卵
1961	107,259,684	23,726,488	408,815,150 <sup>(1)</sup>	45,940,050 <sup>(2)</sup>
1962	118,762,114	24,383,085	440,978,250	48,348,000
1963	126,839,513	23,011,445	453,141,900	49,163,400
1964				

区分 年	羊		豚	
	生肉	羊毛	生肉	精選豚脂
1961	8,866,092	23,931,800	15,068,540	56,700,471
1962	9,322,981	24,568,900	17,132,567	52,036,359
1963	9,821,545	25,735,200	19,778,201	48,589,274
1964				

※ リオ・グランデ・ド・スールの植物性油脂の年次別生産状況

（単位 KG）

年	生産量
1946	8,051,982
1947	5,227,403
1948	5,606,207
1949	8,002,126
1950	11,819,248
1951	8,896,540
1952	8,708,209
1953	9,812,104
1954	11,604,654
1955	10,351,679
1956	14,681,679
1957	12,975,152
1958	29,165,095
1959	44,273,984
1960	61,580,514

※ 1961年度油脂の種類別生産状況

（単位 KG）

種類	数量
粗大豆油	14,579,522
工業用大豆油	17,115,763
食用大豆油	17,022,924
工業用 亜麻仁油	9,332,533
工業用 ツング油	445,078
同落花生油	73,547
食用落花生油	24,688
合計	61,580,514

（注）両表とも PRODUÇÃO DE ÓLEO E GORDURAS VEGETAIS,  
RIO GRANDE DO SUL 1960 による。



※ リオ、グランデ、ド、スールにおける  
邦人のトマト栽培概数表 (1965年)

郡名	栽培本数	郡名	栽培本数
ALEGRETE	20,000	PASSO FUNDO	26,000
ARROIO GRANDE	5,000	PEDRO OSÓRIO	6,000
BAGE	45,000	PELOTAS	150,000
BARRA DO RIBEIRO	5,000	PORTO ALEGRE	300,000
BENTO GONCALVES	10,000	RIO GRANDE	20,000
CACHOEIRA DO SUL	40,000	SANTA CRUZ DO SUL	10,000
CAMAQUA	42,500	SANTA MARIA	150,000
CANÓAS	50,000	SANTA VITORIA DO PALM	25,000
CAXIAS DO SUL	20,000	SANTANA DO LIVRAMENTO	31,000
CRUZ ALTA	12,500	SAO BORJA	20,000
ERECHIM (CARAZINHO)	25,000	SAO GABRIEL	20,000
ESTANCIA VELHA	5,000	SAO LEOPOLDO	85,000
ESTEIO	10,000	SAO SEBASTIAO DO CAI	6,000
GRAVATAI	400,000	TAQUARI	10,000
GUAÍBA	140,000	TORRES	40,000
IJUÍ	30,000	URUGUAIANA	23,000
ITAQUI	10,000	VACARIA	10,000
JAGUARÃO	5,000	VANANCIO AIRES	10,000
MONTENEGRO	55,000	VIAMAO	35,000
NOVO HAMBURGO	45,000		
OSÓRIO	20,000	合計	2287,000

(約115ha)

(海外移住事業団ポルト、アレグレ支部調査資料より)

※ リオ、グランデ、ド、スール 州輸出額比較 (1964, 1965) (製品統計より)

品目	年 区 分	1964		1965		差 引	
		輸出額(ドル)	%	輸出額(ドル)	%	(+) (-) 金額(ドル)	%
		2,009,634	5.00	5,874,697	7.19	(+) 3,865,063	(+) 192.23
白 米		-	-	18,952,202	-	(+) 18,952,202	-
バ ナ ナ		165,805	0.41	-	-	(-) 165,805	-
食 用 馬 鈴 薯		255,110	0.63	-	-	(-) 255,110	-
牛肉及びその加工品		5,384,973	13.38	11,181,244	13.69	(+) 5,796,270	(+) 107.64
豚 肉		114,908	0.28	118,411	0.15	(+) 3,502	(+) 3.06
密 蝟		145,323	0.36	24,4825	0.30	(+) 99,502	(+) 68.47
豚 皮		255,357	0.63	465,439	0.57	(+) 210,081	(+) 82.27
きざみマテ茶		11,610	0.03	-	-	(-) 11,610	-
亜 麻 仁 粕		163,650	0.40	199,266	0.24	(+) 35,616	(+) 21.76
大 豆 粕		1,254,187	3.12	8,430,876	10.32	(+) 7,176,689	(+) 572.22
粉マンジョカ		70,810	810.18	-	-	(-) 70,810	-
血 粉		-	-	65,801	0.08	(+) 65,801	-
大 豆		-	-	5,648,259	6.91	(+) 5,648,259	-
種 用 牛		179,856	0.45	482,009	0.59	(+) 302,152	(+) 168.00
羊 毛		5,972,101	14.84	2,846,621	3.48	(-) 3,125,479	(-) 47.67
松 材		14,326,501	35.61	16,706,730	20.45	(+) 2,380,229	(+) 16.61
とうもろこし		-	-	353,022	0.43	(+) 353,022	-
油 桐 油		130,136	0.32	-	-	(-) 130,136	-
準 宝 石 (粗石)		230,187	0.57	264,659	0.32	(+) 34,472	(+) 14.98
粗大 米粉		968,720	2.41	-	-	(-) 968,720	-
亜 麻 種 子		-	-	776,500	0.95	(+) 776,500	-
葉 煙 草		7,932,897	19.72	6,386,686	7.82	(-) 1,546,211	(-) 19.49
油 搾 粕		163,968	0.41	360,845	0.44	(+) 196,877	(+) 120.07
そ ば		199,200	0.50	-	-	(-) 199,200	-
なめし及び塩漬皮		-	-	668,262	0.82	(+) 668,262	-
そ の 他		96,544	0.74	1,672,100	2.05	(+) 1,375,556	(+) 463.86
合 計		40,861,477	100.00	81,698,454	100.00	(+) 40,836,977	(+) 103.0

※ サンタ、カタリーナ州 主要農作物の年次別作付面積と生産量 (単位 ha ton)

種目	区分年	作付面積			生産量		
		1962	1963	1964	1962	1963	1964
とうもろこし		346,805	374,253	384,938	623,882	670,275	684,434
マンジョカ		121,235	124,113	131,253	1,866,014	2,017,472	2,202,675
小麦		104,097	102,874	102,277	105,098	70,903	95,457
米 (粳)		59,644	60,999	66,467	136,824	160,110	179,012
フェイジョン		85,889	92,074	91,660	86,528	91,785	95,923
葉煙草		22,162	26,959	26,637	24,556	30,078	31,517
馬鈴薯		19,372	19,837	21,390	57,457	66,895	72,950
さとうきび		31,693	33,712	32,257	877,944	1,039,394	1,051,952
ぶどう		5,237	5,544	5,580	37,015	44,195	48,502
甘蔗		24,985	25,357	26,884	307,533	311,246	333,697
バナナ		8,367	9,455	8,971	11,195	12,148	10,358
燕麥		3,734	3,952	3,980	2,146	2,427	2,333
たまねぎ		3,317	3,409	3,719	11,432	11,873	13,117

※ サンタ、カタリーナ州における土地所有形態の推移

所有面積区分 (ha)	区分年	件数		総面積					
		1950	同 %	1960	同 %	1950	同 %	1960	同 %
10 以下		20,722	19.84	48,965	30.80	107,306	2.02	233,726	3.90
10 ~ 100		76,373	73.14	101,931	64.11	2,299,561	43.24	2,883,442	48.18
100 ~ 1000		6,810	6.52	7,443	4.68	1,600,775	30.10	1,711,442	28.59
1000 ~ 10000		515	0.49	438	0.28	1,052,737	19.79	863,491	14.42
10000 以上		7	0.01	13	0.01	257,883	4.85	294,092	4.91
不定		2		194	0.12	-	-	-	-
合計		104,429	100.00	158,984	100.00	5,318,262	100.00	5,986,193	100.00

※ サンタ・カタリーナ州 主要農産物生産状況 (1965年度)

(地域別)

(DEPARTAMENTO ESTADUAL DE ESTATISTICA 1965年より)

区分 地域	とうもろこし		マンジョカ		小 麦		米 (粳)		フエイジョン		葉 煙 草	
	ha	ton	ha	ton	ha	ton	ha	ton	ha	ton	ha	ton
サンフランシスコ沿岸地域	15,190	16,320	6,855	117,650	-	-	18,460	54,823	268	219	835	540
イタジャイ流域地域	36,606	63,878	41,318	672,948	197	147	16,459	49,961	2,518	3,083	12,424	14,525
フロリアノポリス地域	8,407	9,308	17,897	283,821	-	-	3,527	5,542	1,133	976	2,707	3,598
ラグーナ地域	28,139	43,990	51,198	851,232	1,157	940	20,621	47,022	6,387	7,096	6,835	9,250
カノイニヤ地域	35,818	51,097	10,415	111,780	10,756	9,740	6,109	14,019	14,995	13,681	1,240	1,698
リオ・ド・ベイシエ流域地域	73,027	195,998	7,828	158,126	40,773	40,536	2,940	7,189	13,423	15,060	1,079	757
西部地域	142,830	242,184	7,842	128,112	25,272	27,363	2,635	6,595	11,336	14,730	7,215	7,016
ラージェス高原地域	63,833	129,549	2,392	61,746	19,285	19,851	1,219	2,344	14,173	7,526	694	771
リオ・ネグロ上部地域	3,296	4,844	282	3,109	1,200	880	57	161	488	359	140	107
合計	405,146	757,168	146,027	2,288,495	98,640	99,457	72,027	187,661	64,721	62,730	33,169	38,262

区分 地域	馬 鈴 薯		さ と う き び		燕 麥		甘 藷		た ま ね ぎ		アルファアルファ	
	ha	ton	ha	ton	ha	ton	ha	ton	ha	ton	ha	ton
サンフランシスコ沿岸地域	116	428	5,016	182,950	-	-	965	15,700	-	-	-	-
イタジャイ流域地域	3,240	16,502	10,400	277,878	-	-	6,390	70,715	744	1,456	16	49
フロリアノポリス地域	1,672	2,745	9,365	350,330	-	-	360	5,457	362	1,230	-	-
ラグーナ地域	1,292	3,557	8,830	243,896	-	-	11,955	150,463	688	4,160	141	676
カノイニヤ地域	3,495	15,180	-	-	205	84	3,618	28,750	362	1,418	-	-
リオ・ド・ベイシエ流域地域	1,989	6,201	2,904	139,264	563	259	3,124	37,515	230	1,086	1,955	11,648
西部地域	2,321	4,164	1,525	55,674	906	707	1,693	42,342	479	1,295	142	689
ラージェス高原地域	3,291	17,338	-	-	2,107	1,181	1,176	12,345	872	2,155	1,167	10,036
リオ・ネグロ上部地域	1,070	3,612	2	85	-	-	725	5,957	30	41	-	-
合計	18,485	69,727	38,036	1,250,077	3,781	2,231	30,006	369,244	3,767	12,841	3,421	23,098

※ サンタ・カタリーナ州 主要郡の家畜飼養頭数 (1964年度) (DEPARTAMENTO ESTADUAL DE ESTATÍSTICA による。)

郡名	牛	馬	羊	豚	鶏(採卵用)	郡名	牛	馬	羊	豚	鶏(採卵用)
FLORIANÓPOLIS	3,910	500	50	5,400	23,000	LAGES	221,800	15,100	19,200	72,300	133,200
JOINVILE	10,000	5,500	700	17,500	46,000	CACADOR	8,300	2,150	2,700	36,000	33,000
BLUMENAU	6,990	8,910	485	32,200	27,200	CONCORDIA	35,000	10,500	1,750	204,100	50,000
TUBARÃO	10,000	1,720	270	17,215	22,210	CANOINHA	37,000	18,000	3,600	60,000	168,400
ITAJAI	3,300	490	100	7,800	17,000	MAFRA	16,200	17,200	4,300	45,000	84,000
BRUSQUE	3,160	680	80	2,180	2,650						
RIO DO SUL	4,640	300	500	12,000	60,000	全州合計	1,741,000	423,000	254,000	5,075,000	6,455,000

※ サンタ・カタリーナ州 地域別果物生産状況 (1964年度)

地域名	ぶどろ		バナナ		りんご		梨		桃	
	ha	ton	ha	房(1,000)	ha	果数(1,000)	ha	果数(1,000)	ha	果数(1,000)
サンフランシスコ沿岸地域	17	51	2,750	3,476	-	-	-	-	78	1,370
イタジャイ河流域地域	133	1,794	1,089	2,310	11	1,714	81	16,990	38	3,627
フロリアノポリス地域	1,247	562	1,346	2,080	5	360	16	1,600	16	1,673
ラグーナ地域	413	2,971	1,401	2,465	-	-	-	-	12	1,231
カノイーニャ地域	369	1,477	25	64	40	2,694	72	7,639	162	18,436
リオ・ド・ベインエ流域地域	3,184	39,058	-	-	39	2,166	52	3,250	1,311	10,080
西部地域	315	2,507	67	129	3	333	24	4,257	74	6,364
ラージェス高原地域	770	6,555	-	-	333	23,221	150	20,789	221	14,382
リオ・ネグロ上部地域	13	109	15	11	28	2,020	37	2,417	27	679
合計	6,461	55,084	6,693	10,535	459	32,508	432	56,942	759	57,842

(注) 邦人在住関係郡の所属地域

☑ サンフランシスコ沿岸地域  
(QUARAMIRIM, JOINVILLE)

☑ イタジャイ河流域地域  
(BLUMENAU, BRUSQUE, GASPAR, ILHOTA, ITAJAI, RIO DO SUL)

☑ カノイーニャ地域  
(CANOINHAS, MAFRA, PAPANDUVA, PÔRTO, UNIAÛ, TRÊS, BARRAS)

☑ フロリアノポリス地域  
(FLORIANÓPOLIS, PALHOÇA, PÔRTO BELO)

☑ ラグーナ地域  
(CRICIUMA, GRAVATAL, SÃO LUDGERO TUBARÃO)

☑ リオ・ド・ベインエ流域地域  
(CONCORDIA)

☑ 西部地域 (CHAPÉCO)

☑ ラージェス高原地域 (CAMPOS NOVOS, LAGES, CURITIBANOS, RAMOS 移住地, SÃO JOAQUIM)

☑ リオ・ネグロ上部地域  
(CAMBO ALEGRE)

※ 伯国各州別 養鶏業事情の推移

(ANUÁRIO ESTATÍSTICO DO BRASIL 1964.1965より)

区 分 州 名	産卵用鶏数 (1,000羽)			肉用鶏数 (1,000羽)			鶏卵生産量 (1,000ダース)				
	1963-12-31	1964-12-31	対1963年 100の指数	1963-12-31	1964-12-31	1963年100 に対する指数	1961	1962	1963	1964	1963年の100に 対する1964年指数
GOIAS	7,381	7,806	107.1	5,197	7,587	145.9	2,776	29,529	32,995	41,294	125.5
RONDÔNIA	70	60	85.6	74	80	108.1	276	299	323	200	61.9
AGRE	219	209	95.5	267	346	129.6	862	1,011	985	1,171	118.9
AMAZONAS	845	699	82.7	485	537	110.7	2,423	2,706	2,976	2,897	97.4
RORAIMA	28	31	110.7	29	33	113.9	44	44	115	126	109.6
PARÁ	1,280	1,309	102.3	894	1,571	175.7	3,897	4,104	4,591	5,396	117.5
AMAPÁ	40	45	112.5	59	96	162.7	182	179	185	205	110.8
MARANHÃO	3,863	3,156	81.7	2,472	3,752	151.7	12,615	14,143	14,535	12,527	86.2
PIAUI	2,415	2,456	101.3	1,628	2,240	137.5	7,668	8,381	9,172	9,845	107.3
CEARÁ	2,785	2,906	104.3	1,923	3,117	162.1	9,890	10,479	11,172	11,387	101.9
RIO GRANDE DO NORTE	800	867	108.4	581	801	137.8	2,440	2,715	3,158	3,703	117.4
PARAÍBA	1,707	1,665	97.5	1,104	1,860	168.5	5,275	6,306	6,848	7,300	106.6
PERNAMBUCO	2,587	2,653	102.6	2,008	2,778	135.3	10,074	10,234	11,714	13,403	114.4
ALAGOAS	1,532	1,546	100.9	1,394	2,293	165.7	5,249	5,556	6,075	6,127	100.8
SERGIPE	993	719	72.4	654	822	125.7	2,755	3,015	3,495	3,019	86.4
BAHIA	5,620	5,950	105.9	3,910	6,079	155.5	18,504	20,085	20,781	22,577	108.6
MINAS GERAIS	22,303	23,008	103.2	15,980	18,431	115.3	83,787	91,281	96,248	99,212	103.1
ESPIRÍTO SANTO	2,867	3,007	104.9	2,126	3,643	171.3	10,032	12,655	9,865	10,038	101.7
RIO DE JANEIRO	6,010	6,119	101.8	3,890	4,784	122.9	32,590	36,230	40,771	44,255	108.6
GUANABARA	337	302	89.6	416	1,376	330.8	5,540	3,000	3,153	3,590	113.9
SÃO PAULO	25,505	24,667	96.7	14,888	20,112	135.1	167,017	172,170	178,087	196,213	110.2
PARANÁ	13,675	12,990	94.4	9,388	11,751	125.2	50,415	51,899	57,546	60,919	105.8
SANTÁ CATARINA	6,072	6,455	106.3	3,883	5,543	142.7	22,960	23,402	25,187	26,706	106.0
RIO GRANDE DO SUL	10,225	9,757	95.4	7,448	9,679	129.9	44,601	45,530	48,181	49,881	103.5
MATO GROSSO	5,164	4,683	90.7	3,105	4,018	129.4	16,948	17,559	19,375	17,355	89.5
DISTRITO FEDERAL	35	40	114.3	60	57	95.0	85	85	408	500	122.3
ブラジル生産合計	124,358	123,105	98.9	83,863	386	135.2	543,907	572,597	607,936	649,846	106.9

6  
4

6  
4